|  |
| --- |
| **「茨城県近代美術館」**  2015.9.22  ながらくお休みしてました。。。  長雨からあけて真夏のようなシルバーウィーク、水戸にいってきました。「6つの個展2015」をみるためです。まさしく数名の作家の個展が一同に会しているようで見応えがありました。横須賀氏、間島氏には学校で教えていただいたこともあるので、なんだか不思議なかんじがしました。両作家ともすごいです、うん。　アトリエでもがいている自分へ叱咤激励！！ |
| **「森のにおい」**　7.21　Ｔｕｅ．  塩の香りのする上野駅で乗りつぎ、自宅のある駅で降りました。木の香り、たくさんの。普段は気付かないのに、帰ってくると、こういう香りの中で暮らしているんだな、と思う。 |
| **「わすれんぼう」**  私が絵を描き続けられるのは、わすれんぼうが功を奏しているのかもしれない。昨日までの目標が突然くつがえったり、もうだめかとあきらめた途端、希望でまい進したりする。大事なことをこぼしながら、どうしようもないものだけが残る。 |
| 7.7 **七夕**  絵の中はおそうじしてはいけません。 |
| 6.24 Wed.  はっきりいってさえない作業をつづけることのほうがおおい。だから、立ち現われた瞬間が埋没しそうなくらいだ。さえない延長戦上にあるものといってもいい。 |
| 不思議。はっきりさせようとしたら、消えた。これは、はっきりとしたものではないのだ。 |
| 5.15 Fri.　**「ささやかながらも、」**  自信のもとにおこなわなければならない。そうしないと何を信じたらいいかわからなくなってしまう。 |
| **「blue and green」**5.6 Wed.  ＧＷに海をみて山にもどってきました。ちがうものをみるときの眼の新鮮さがすきです。海の色も新緑の山の色もいい。忘れっぽいのも長所ととれば、また新たに絵が描けるのです。 |
| **「迷子」**　5.1　Ｔｈｕｒｓ．  ５月になると、またひとつ大人になります。なのに、いまだ絵の上で迷子になってます。考えたり、考えなかったり、眼は口ほどにものをいう。自分の眼を信じるほか道はないのです。こまった。 |
| 4.7 Tue. **「 キセキのレシピ」**  また一からやり直しです。でも、その方が近道だったりします。 |
| **「Ｉ　ａｍ　ＨＯＵＳＥ　48.」**　3.12　Ｔｈｕｒｓ．  ちまたで流行りの歌や小噺は、住人から教わります。そのうち、教えられることの方がふえていくのでしょう。。。  ときどき、よからぬ言葉も。不満気に「ややーいいんでしょ！」「・・・もう一回？」「ややーいいんでしょ。」「もう一回？」「ややーいいんでしょ？」教えてやりゃーいいんでしょうが、その前にもう一回いって。 |
| **「目に見える時間。」**　3.4 Wed.  今日、見逃した映画「６才の僕が大人になるまで」を観てきました。１２年間同じ役者が演じる家族の時間。少年は成長し、大人は。。。なんとも説得力のある時間が流れている映画でした。今がつながって人生ができるという実証の見届け人となるんですね。 |
| **「たぬきのおきゃくさま。」** 2.16　Ｍｏｎ．  茨城のグループ展が無事終了しました。しみじみと帰途につくはずでしたが、強風のため4時間駅にてまちぼうけ。結局、翌日今までのことはなかったことのような晴天の下、なんだかなつかしい夢をみていたような気分で帰りました。新宿駅で立ち食いとろろそばを食していると、聞こえてくる。「お客様はたぬきですね？」うしろはみてませんが、ほんと、化かされた気分です。 |
| **「painting　as traveling」**　2.12  まずは、空っぽのスーツケースにもっていくものを吟味してひとつひとつ入れていこう。さあ、いざ旅にでると、おもいがけないことがおこるものです。スーツケースはそこへおいといて、山や谷をこえなければなりません。なんだか体がおもいのは、ポケットにかくしておいたお菓子のせい？欲張らずに、ひとつひとつおいていきましょう。ぜんぶなくなったら、きっとみたこともない世界に出合えるでしょう。 |
| **「small pain」**2.9Mon.  実にささいなことで心をいためることがある。もっと大きな流れをみつめたい。もっと出しきれたらいいのに、と思うこのごろ。。。絵は口ほどにものをいう。このささやかな心こそ私そのもの。大切にしたいのです。 |
| **「leave behind ！」**  今までは幸か不幸か、思いどうりに作品を描き切ったことなどなかったようです。今回、わたしの思惑通りに出現したのですが、どうもつまらない。。。思いどうり、想定内、絵の大切ななにかが消えてしまいました。  思い切って絵を、よこをたてにしてみたところ、まだ可能性はありそうです。。。 |
| **「time is enough」**　2015.1.23　Fri.  時間はもう十分なはずである。絵が完成するためには瞬発力と行動力が必要である。 |
| **「common sense」**　2015.1.15 Thurs.  私の中の常識人が邪魔をする。眉間にしわよせててもけして訪れません。絵でしかありえない世界へおそれずに！ |
| **ＨＡＰＰＹ　ＮＥＷ　ＹＥＡＲ　２０１５　○●○●○**  本年もどうぞよろしくお願いいたします。　あかるくまいりましょう！！ハッピーな年となりますように。 |
| 2014.12.11 Thurs. **「アート三昧」**  先週末は、ブリヂストン美術館、画廊3件、途中休憩5回という贅沢な時間をすごしました。デ・クーニング展は、「女、女、女・・・」と色彩も豊かでした。　その中で、私が度胆を抜かれたのは、菅井汲の作品、「ＯＫＡ」と「黒い雲」。帰ったのは、夜でしたが、思わず筆をとりました。 |
| 11.13 Thurs.  一ヶ月以上咳になやまされ、やっと復活しました。絵も動き始めました。。。  来年2月に高校時代の恩師で現代美術作家の横須賀幸男先生と美術部ＯＢ展が茨城で開催されます。先月銀座で同氏の個展もありました。すごい。まけてはいられません。 |
| **「少年時代」** 9.17 Wed.  長い影が　夜にのびて　星屑の空へ　夢はつまり　想い出のあとさき・・・　わたしの心は夏模様・・・  子どもの頃の思い出は夏ばかり。親戚のおじさんは天国へいきました。ふしぎとこの曲がききたくなりました。 |
| すこしでも、成長するしか、今を乗り越えていく道はない。 |
| 8.28 Thurs**. 「rain」**  そう、八月だというのに、今日、おじいちゃんがこたつを用意しました。涼しい、というかうすら寒いです。ほんとに夏休みが終わってしまったかんじです。 |
| **「まつり」**7.29 TUE.  太陽の下、神輿の太鼓ひっぱりました、ひっぱりました。滝のような汗ながしました。大きな声出しました。らしくない、らしくない。でも、少しだけ強くなりました。昼間の銀座の画廊をいっぱい廻れました。観ました。学びました。 |
| **「10年そうじ」** 7.11　Fri.  引越してきて１０年、一度も手をつけなかった箱々がある。過去をおさらいすることにした。１０年寝かせたわけだから、踏ん切りもついてかなりのものを手放すことにした。雑紙10袋、可燃袋6袋、書籍、、、。それでもとっておきたいもの、気になるもの、それが大切である。先へすすむのである。 |
| **「寄り道名人」**6.25 Wed.  何かに没頭したくなるときがあります。今回は、そんなかんじで、洋服を３着ほど作りました。欲求は高まり、高度なものへトライしたくなりました。そして、ミシンで走りまわった挙句、真反対につけてしまったことに気付き、落胆。。。何の道でも、先へいくためには、一線があるのです。  寄り道はこのへんにして、絵をかきましょう。。。 |
| **「贅沢な時間」**　6.6　Fri.  画廊のオープンしたばかりの小１時間。この時間に画廊を廻るのがすきだ。貸切で、絵をじっくりみることができる。藍画廊貸切り、若宮綾子展。。。なんとも贅沢。小さな愛らしいものたちが絵画とか彫刻とか枠を超えて、身近で遠いどこかへといざなってくれます。「ただいま」といいたくなる空間がそこにはある。 |
| **「カエルのうた」** 5.21 Wed.  家の前の小さな三角たんぼに水がはられました。とたんに、夜はカエルの大合唱です。夜ってこんなに静かだったっけ？ |
| 5.17 Sat.  個展が終わりました。最終日は頭がぐるぐるしました。まずは、作品をいくつか描いてみようと思います。これからのことを考える前に。。。  　個展に足を運んでくださったみなさま、HPをご覧いただいた方々、ありがとうございました。 |
| 5.13 Tue. **「OPENING」**  いよいよ個展がはじまりました。４年ぶりの個展ですが、初日にいるのは、１０年ぶり？？ざわざわする不思議な気分です。画廊で人を待つ、自分の絵を客観的にみる、、、考えることは、絵描きたいな。。。もっともっと描かないとな、ということにつきます。人知れずコツコツ描いておりますが、やっぱり、絵は見る人あって輝きます。ありがたいです。  在廊日：13,15,16日（～2:00）、17日（終日） |
| 5.7 Wed. **「Happy　Birthday」**  子どもの日に、けっこうな年齢になりましたが、たくさんの人にお祝いしてもらいました。しあわせです。  いよいよ今週土曜日に作品搬入です。私にできるのはここまでです。4年ぶりとあって、これまた多くの友人知人からコンタクトをとっていただき感謝いたします。最後のまつり、以前から思うのですが、自分葬のような心持になります。会期中は、初日と最終日以外は、昼間2時間ほどしか在廊できませんが、来ていただいた方に十分お応えできるような展覧会となることを祈っております。  まだ描いています。ぎりぎりまでやりたいと思います。完成させるためではなく、美しい未完成のために。 |
| **「days」**4.16　Wed.  なんとなくさえない感じ、、、制作中は、これに日々たえるようなかんじ。すこぶるさえてる！！という日こそ要注意なので、まあよしとするこらいである。 |
| **「KAMAKURA」**4.6　Sun.  鎌倉の町は、並んだ店々は住んでいた頃とずいぶん変わったが、印象は大して変わらない。、コクリコのレモンクレープも侘助の時間が凝縮されたような壁のしみも、ちょっとあくの強い友人たちも、私が好きなものはそのまま。いいものは変わらないものである。 |
| **「光る影」**  西日のあたった小さな木に、長い影ができていた。まるで根っこのようにみえた。  光る影。  みえないものをみえるようにするのではなく、みえないままもってくることはできないかと、制作しています。 |
| **「Life」**　3.16 Sun.  日常生活は、修行だと思っている。。。面倒くさいことも多々あるが、あえて絵を言い訳にはしたくはない。ふり幅が大きいと絵に跳ね返って得ることもある。最近は、もうぜんぶ受け入れる覚悟でいる。逃げ道を探すよりも意外と楽な気もする。 |
| **「反対の賛成！」**  どうも絵を完成させることが目的ではないようである。完成への道は閉じている。あくまでも、引き際をみつけるまで、開放してないといけない。反対ノベクトルの渦に私自信も飲み込まれる。 |
| 2.19 Wed. **「ことばをとりもどす」**  この数年間、言葉や思考から絵を解き放つ作業をしてきた。個展前DM作り、タイトルをつけるにあたり、ことばがでてこない。。。ある意味、成功してるともいえるが、絵への糸口ともいえることばは大切である。使っていない頭をフル活動させてみた。少しづつとりもどしつつある。 |
| **「雪ニマナブ」**　2.10　Ｍｏｎ．  土曜日は、関東では４５年ぶり？という大雪にみまわれた。贅沢な雪遊びの時間がはじまった。真っ白なカマクラは、バケツでかためたレンガ造り。雪だるま、雪のケーキが並ぶ。。。数日で溶ける雪、全力で作る。「労力は惜しみなく、出来上がったら潔く手放す！」　理想です。 |
| **「絵画の可能性？」** 1.17　Ｆｒｉ．  なんとなく心が乾いてるような気がして、こんなとき、絵画はなにかを与えてくれるのか？という思いで銀座の画廊へ行きました。お目当ての絵をみたくて藍画廊へ。これといって主張しないその絵というか、小さな物体というか、まさしくその感じは、直接なにかを与えるわけではなく、ただそこに在るだけ。説明も大義も要らない。在る。これがとっても大事。 |
| がっかりしたのもつかの間、  意外とそこまで来ている絵は、手をいれるところがよくわかり、作業がはかどる。  数か月前はみえなかった先の景色をみることができる。 　1.15 Wed. |
| **「 Ｉｍ　getting there ?　」** 1.9 Thurs.  個展にむけてその時期のベストな状態で作品をとめて、ひとまず梱包してきたのですが、ひもといてびっくり！自分の実力をまざまざと思い知ることになりました。少しは進歩したのでしょうが、やることが山積みです。。。 |
| ●　HAPPY NEW YEAR 2014　●  2014.1.1 　みなさまよい一年となりますように。。。  　子どもの頃から特別に思えていた年齢に、いよいよ今年さしかかります。はるか先は、まさしく今となりました。心して参りたいと思います。 |

|  |
| --- |
| **「年の瀬」** 2013.12.28 Sat.  年の瀬、なんて意識したことはなかったが、12月になって、身近な方々が二人も逝ってしまいました。「死」というものは、順番に老いた順からおとずれると思っていた子供時代。いろいろな「死」があることをまざまざと感じるのは自分も年を重ねた証拠なのでしょう。。。年の瀬がぱっくりとあっさりと命をのみこんでしまったようです。。。 |
| 12.10 Tue.  先週末、はじめて国立新美術館へいってきました。やっと行けました。六本木にこんな閑静な広い場所があったのか、とおどろきました。「印象画を超えて～」展、人気のモネやゴッホもあり、けっこう混んでました。かなり長いこと足をとめて観ている人がいます。いい絵なら人は素通りしなしで、たたずんでくれるんだ、、、。そのあと、銀座の画廊へ行きました。贅沢な空間と時が流れています。でも、人がすくないのは残念なこと。。。 |
| **「Ｉ　ａｍ　ＨＯＵＳＥ　47」**11.19 Tue.  毎日、同じことをし、同じ人たちに会っていると、ある日、あ、ちがうと思うときがある。時間は流れているし、いきものは成長する。気付かれないように、はたまた、気付きなさいとばかりに。フルーツ狩りから帰ってきた住人の姿が、また大きくなっていました。 |
| **「そう落ち込むこともない。」**　　11.13 Wed  自分なりの調子のバロメーターがある。絵を描いていて、大発見をした！かのように雄弁になるとき、なんてさえないんだろ！と自信喪失で落ち込むとき、など一喜一憂するときはよろしくない。描きかけの絵をみても何のことはなく、ただただ筆をうごかす、つづける、おわる、またつづける、しごとをこなしていくような冷静なとき、これが確かな作品となっていく。 |
| **「波ウチギワデハ」**11.4　Ｍｏｎ．  夏以来、久しぶりに海へ貝殻をひろいに行きました。台風のあとというのもありますが、浜は、流木と岩でゴロゴロしてました。小さな貝殻をさがすのは困難で、河原にあるような石ばかり。白い砂浜の半分は、波の打ち付ける堤防と化していました。３．１１の地震で家屋は元に戻りつつありますが、ここの海のかたちは、もどりません。打ち付ける波がいまや遊歩道を飲み込んで、人々や家屋に被害を及ぼさないことを祈るばかりです。 |
| 10.23 Wed. **「・・・秋。」**  箱根にいったり、運動会で全速力で走ったり、歯がいたくなったり、秋はざわざわと忙しいような気分。やっと、ここへもどってこれました。そのままありのまま描くしかありません。できるものしかできません。やれることはやりつくさねばなりません。 |
| 9.13 Fri. **銀座へふたたび。**.  真夏並みの銀座を画廊めぐり～。新しい人、堅い人、真剣な人、働く人、食べる人、、、いろいろな人や作品に目が回りそう、、、コバヤシ画廊にて横須賀氏の個展にたどりつく。薄暗い照明に正面の大画面が鎮座し、とてもかっこいい。。。高校時代の恩師であるが、当時は思いもよらなかった巡りあわせを感じる。ほんものの作家と出会える幸運は、のちのちのお楽しみである。 |
| 9.9 Mon.　**「夜景」**  たまたま乗った横浜の大観覧車から、花火がみえた。下方に見る花火ははじめてである。横浜美術館のプーシキン展の列に並ぶ気にはなれず、冷凍マンモスのＹＵＫＡもみず、オリジナルカップヌードルはつくらず、贅沢な時に見入りました。 |
| 9.3 Tue. **「うろこ雲」**  空は、すっかり秋の雲である。。。夏休み、しました！　海にプール、花火、かき氷、祭り、、、そして、いよいよ焼きそばを焼く側になりました。いつまでもお客さまでいたい、という気持ちとはうらはらに、いろんなことをさけられない大人になってしまいました。　キャンバスがより恋しく思われる日々です。ありがたいです。 |
| 8.4　Sun.  夏風邪からやっとたちなおりました。もう、8月。。。まだまだ遊び足りません！！ |
| 海へ～　～　～　～　～C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\post.jpg  「post」　実際に使われております。。。 |
| **「いたちごっこ、隣人はとかげ」**　7.9 Tue.  このあたりには、いたちやタヌキがでます。なぜか、うちの物置(絵がしまってある）の下に、夜な夜ないたちが、穴をほるのです。それを、おじいちゃんが朝うめる。その繰り返しがしばらくつづきました。  最近アトリエにやもりが見え隠れしていたので、運をはこんでくれるものとほおっておきました。しかし、その正体はトカゲだったのです。昼間いっしょにいると思うと複雑です。緊張感が走ります。 |
| **「銀座の眼」**7.8　Mon.  土曜日は、藍画廊のみわはるき展、閑々居の園家誠二展をみてきました。みわさんの「くちびる」シリーズは、潔くていままでで一番おもしろかった。唇からも、風景からも離れたものがあった。　園家さんの絵は、なんとも心地よい。その中にいる、のを観客に徹し、味わいました。以前の私なら、作家のいいところを学ぼう！目線でしたが、えらい人の忠告も、すばらしい絵の魅力にも、ゆるがない自分がありました。 |
| **「sleeping fish」** 　6.18　Tue.  お祭りですくった金魚が2匹、一年たってビッグになった。最近、「ぼうしくん」の様子がへん、、、底面に横たわって動かない。どうも尾びれに負傷があるらしく動いていない。もしかして、、、と覚悟もしていた。３日ほど経ち、相変わらず尾びれは動いていないのだが、浮遊泳しはじめた。曲ったシッポのぼうしくん。魚も寝て治す力をもっているのですね。。。 |
| **「new world」**　6.6 Thurｓ.  久しぶりに、キャンバスのロールを注文した。うれしい出費である。それだけで、またばんばれるから、単純である。 |
| 5.28 Tue. **「立ち返る場所」**  絵の具やさんの前の喫茶店。銀座の画廊。北鎌倉駅のホーム。実家のあった場所から眺める海。いつもいた場所、よく通ったばしょ、自分の成長をともに過ごした場所だったりする。 |
| **「I am HOUSE 46」**  住人が、途中まで読んだ『星の王子様』 のはなしをしてくれました。　おもしろい、先回りして読んでやろうと思いました。どんな話だったかって？むずかしい、、、おとなのことばで語ることはかんたんです。むしろ、どんな話だったか住人(Little Prince)　にききたいと思います。 |
| **「スイッチ」**　5.14　Tue.  最近オセロにはまっている。集中と拡散のバランス、そしてぜったいにとる！という気合が大切なように思う。このスイッチの入れ方がいろんなことに使えそうで、オンオフをうまく使いこなすため習得中である。 |
| 4.30　Mon.　**「財布」**  誕生日に長い財布をかってもらいました。これぞ！というものに巡り合うことができました。しばらくの人生のよき友となるはずです。財布ひとつでお金の扱い、感覚がかわるから不思議です。たんなる「もの」ではないようです。 |
| 4.27 Sat. **「時間」**  　今週は、知り合いの展覧会がたまたま重なってたので、久々に画廊のはしごしました。平日の午前中に一人巡ることが多かったのですが、土曜日の午後ということもあり、作家仲間にも会えました。めったに会えない機会を大切にしたいと思うようになりました。渋谷や銀座にいったのに、なつかしい気分になりました。 |
| 4.12 Fri.　**「人知れず、」**  　 庭に咲く野の花の種類を数えてみました。ひとつづつ摘んで並べてみたら、ざっと13種類 はありました。  C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\nonoha.jpg |
| 4.10 Wed.　 **「face」**  きっかけは、かったーーいクラッカーでした。もともと爆弾をかかえていた歯がついに怒りました。睡眠不足でオセロを10回位楽しみ、さて寝ようと鏡をみると、心なしか頬がはれているような、、、翌朝から左頬はこれでもかというほどパンパンに膨れ上がりました。へこみました。。。こんなことでも、きっと何かに生かされることがあるはずです、（あるのかな？）幸い、薬のおかげで2日で腫れは引いてきました。今日は絵を描きたいです。 |
| 4.1 Ｍｏｎ．**「Ａｐｒｉｌｆｏｏｌ」**  一ヶ月ぶりです。というのも、世界へ旅にでておりました。おいしい生春巻きやエスニックな料理もたべました。。。  ある意味ホントで、、、私の小さなリアルな世界へ。翻弄されながらも、毎日コツコツ描いておりました。つづけると、それなりになにかが現れてきます。今はただそれをつづけるのみです。 |
| **「お花見列車」**　3.30　Ｓａｔ．  新宿から八王子へ帰るのに、時間は大差ないのですが、「特急スーパーあずさ」に乗ることがあります。夕暮れ時30分。とても快適な時間。この日は、桜が満開で、沿線上に見事な桜を次々に見渡しながら、一杯！エキナカでおいしいおつまみも揃え、外は花冷えだというのに、なんとも贅沢。やっぱりお花見っていいな。 |
| **「忘却魔法」**　3.4　Mon.  マンガの「黒魔女さん」は、とんでもないことがおこっても、瞬時に何もなかったことにしてしまう魔法をもっている。私にもあるようで、かなり長いこと手がいれられなかった画面への固執がうまい具合に浄化され、動き出すことがある。忘れることも時には必要です。 |
| 2.26 **「銀座」**  久しぶりに、東京駅から新橋まで画廊を点々と巡りました。新マルビル付近で、サラダとおいしいパンの食べ放題。パワーをつけていざ！藍画廊の山本まり子展。焦点があわなくなる心地よい錯覚に身をゆだねてみる。いい、やっぱりいい。なびす画廊で版画展。あ、これほしい。というものもあり。閑々居にて久野隆史展。シンプルな底厚の作品が並ぶ。充実しました。今日であったのは、素直な直球な作品ばかりでした。そのまま、そのまま向かうことです。小走りで帰る。 |
| 2.7 Thurs.　**「たとえばそれが、」**  たとえばそれがバラだったとしよう。バラをかいたとたんにきえてしまう。太陽と虹と塔らしきものかと思ったとしよう。明確な景色が顕わになったとたんにきえてしまう。確信したと同時に疑ってみよう。そうでなければ、つかまえることはできない。 |
| 1.30　Wed. **「 地道というのかもしれない」**  道があっていれば、同じことをやっているようでも　ぜんぜんちがう。　道の確定は自分次第。 |
| **「Life of・・・」** 　2013.1.29 Tue.  ２時間大海原をトラと一緒に漂流してきました。そんな気分です。映画、『ライフ　オブ　パイ』。　　少年期の映像をみていたら、なんだか画廊の匂いがしました。大海原では、ﾊﾝﾊﾞｰｶﾞｰの匂い、、、と思ったら、後ろから。 |
| 2013.1.21 Mon.  ひっそりと、72ある石段の雪かきをしました。上から半分で挫折しました。固まった雪はけっこう手ごわいです。半分から下は細く人なりの道となってます。 |
| 2013.1.1　Ｔｕｅ．　◆　あけましておめでとうございます　◆  今年もみなさまにとってよい一年となりますように。。。一日一日大切にすごしたいです。形に残していこうと思います。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **「out of rule」**　2012.12.21 Fri.  気付けば、今年も もうすぐ終わりです。　ここにきて、これまで私が学んできた絵画思考を覆す魔法のことばを発見しました。すると、肩の力がすっと抜けて、絵の中でこれは反則でしょ！と思っていたことや、やってはならない山ほどのことを、あえてやってもいいのではないかと。　今、ねちねちと、一枚のえを描いています。とにかく、完成させます。 | | |
| **「これってありですね？」**　12.1　Ｓａｔ．  久しぶりの美術館。ゴッホのひまわり、グランマモーゼス、東郷青児などを見ました。だいぶ絵の観方がかわったようで、東郷青児の巧さにびっくりした。かつてはスルーしてたな。。。ここのところ、自作で、このタッチでいいのか、わからない部分をどうすればよいのか、となやんで自信もなかったのだが、それもあり、あれもあり、そして、わたしの作品も大いにあり、なのだということに納得できた。自信をもってまい進、ひたすらまい進しかないのですね。 | | |
| **「paper cut」**11.15 Thurs.  ふと思うところあって、部屋の障子を張り替えることにした。のりを付けて和紙をまっすぐのばす、端をきりおとす。とても懐かしい感覚である。パネルに和紙を水張りしていたころを思い出す。この作業きらいじゃないなあ、と身がひきしまる。ある種の満足感。これで十分である。 | | |
| 11.5 Mon. **「 くもり」**  陽があたるわけでもなく、雨がふるわけでもない。どんよりと薄暗い。久しぶりにひとり、今を考える。ここのところ、7年間の写真整理に追われ、時間旅行をしていた気分である。「今」はなんにもない。でも、ゼロではない。また、つくっていかなくてはならない、と。 | | |
| 10.24 Wed.　　40年も自分やってると、あるていどは察しがつくのだが、意外と自分で思っているほどでもない。理想と現実がいつのまにか入り組んでいるのである。まさしく絵と同じで、はっきりクリアに描きたい欲求と曖昧に漂っていたい欲求、反対のものを追い求めてしまう。でも、どちらかに決めつけるのでなく、そういった自分をありのまま受け入れてみようかな、、、とすこしだけ思った。現実に個として居るのだから、そんな絵もあってもいい。 | | |
| 10.12 Fri. **「本日、晴天なり。」**  銀座へ。　画廊２軒と復活した東京駅をみる。　地味に堅実に制作と向かい合う作家たち。孤独にアトリエでひたすらに。なんだかうれしくなった。作品をみればすべてがわかる。オミトオシされるから面白い、オソロシイ。 | | |
| 10.7 Sun. **「ぶどう祭り」**  ぶどうを狩りにいきました。たまたま甲州勝沼のぶどう祭りの日とあって、すごい人！どうして自分でもぎって食べるとおいしいのでしょう。この見事な枝ぶりを育てるためには、陰の努力を感じずにはいられません。 | | |
| 10.1 Mon. **「time goes by」**  なんだか浦島たろうみたいである。ここのところ、アトリエですごす時間がつづいた。先週ひさしぶりに、銀座へと出かけたが、新しいビル、店、アイフォン５の列、、、お気に入りのスープ屋をさがして見当たらず時間切れで立ちそばを食べた。知人の絵もずいぶんと変わっていた。時間は流れる。でも、玉手箱はあけません、、、。 | | |
| **「読書」**　9.10 Mon.  ここのところ活字離れしていた私が、久々に出会った本。『真理先生』　武者小路実篤著。「しんりせんせい」と読むのですね。ふつう、絵描きがでてくる本やドラマは、どこかへんなものですが、ここにでてくる人たちは、ほんとへんなのですが、ホントなのです。　読み終わるのがもったいないようでした。。。 | | |
| **「奈良美智展」**　9.1 Sun.  久々の横浜美術館。。。土日とはいえ、すごい人である。どうも午後から作家のトークショーがあるらしく、女の子が圧倒的に多いのには驚いた。ちょうどここで20年前！にみた奈良氏の展覧会とリンクする。作品がなんだか優しくなっていた。一見さらっとみえるけど、実に20年の幅、真摯に制作に打ち込んできた痕跡がみえた。。。 | | |
|  | 8.19 Sun. 　**「I am HOUSE　-45-」**  住人との遊びは、主に「○ったん」である。紙人形、イラストカード、人形、ぬいぐるみ、ゆび、進行しながらのお絵かき、と形態は変わるものの、ある世界を演じるごっこの世界である。朝起きていきなりはじまり、小さな空き時間にも忍び寄り、最近では、ものがなくても会話だけで成立できる技を身に着けた。傍で聞いている方々は、いったい何の会話だろうとおもうでしょうが、これは、「トーキング　○ったん」なのですよ。 | |
| . **「絵があるということ」**8.9 Thurs  どこかへ行ってかえってくると、アトリエに描きかけの絵がある。実家で2，3泊して帰ってくると、そこに絵がある。悪戦苦闘して煮詰まっていた作品でさえも、そこにあるということが、どれだけないこととちがうか。。。絵がそこにあるということは、なんてすてきなことなんだろう、と思ったりする。 | | |
| **「グスコーブドリの伝記」**　　7.25Ｗｅｄ．  グスコーブドリは名前です。登場人物はねこ。舞台はイーハトーヴ。そう、宮沢賢治の世界広がる映画です。たんなる教訓や模範としてまとめてしまわずに、ふしぎなまま大きく受けとめてほしい、、、。 | | |
| **鬼燈ーほおずきー**　　7.22Ｓｕｎ．  寒い位の夏、深大寺の鬼燈まつりへいってきました。なんだか怪しげで、よさこいにガムラン、ジャズ、いろんな文化が交錯している中、手作り市ですてきな作品に出会ったり、楽焼に絵付けし、待ち時間にそばで一杯。たまりません。 | | |
| **「pain is good」** 　7.12 Thurs.  小学生以来、派手に転んでケガをしました。　祭りのあと、、雨、思い荷物、、、カンビール、サンダル、坂道、、、アワテル、、、痛みをこらえ、信号待ちで膝をみたら、右のひざ下が真っ赤でした。膝で線香花火がパチパチ燃えているような感覚。いろいろ、いろいろ気をつけなくてはいけない。あらためて、身体の中身を意識する私の大事件でした。 | | |
| **「 夏 」**7.5 Wed.  きょうは、暑いなか、久しぶりに銀座の画廊を廻りました。ｷﾞｬﾗﾘー閑々居にて茶室に平置きに展示された園家さんの作品。とても美しかったです。雲間から下の世界を見渡すような。　資生堂ｷﾞｬﾗﾘｰ、藍画廊になびす画廊、美術の空気をすってきました。まだまだ突き進む力が足りないなと、アトリエで奮起。それにしても、都会の夏はきびしい。 | | |
| **「　memory　」**　6.22 Fri.  　実家の旅館が老朽化と大地震の被害もあって、先日、解体されました。ふしぎなもので、まだ何もない状態をみていないもので、頭の中では健在です。想い出はこうして創られていくのでしょうか。。。 | | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\gotisou.jpg |
| **「侵入者」**　6.11　Mon.  最近、平和ぼけしている私に、大きなムカデが目をさましにやってきました。８ｃｍはあったでしょうか。。。ふと、カーペットの隣にいました。一人、絶叫しながらやっつけました。もう、アトリエでゴロゴロはできません。描くしかありません。 | | |
| **「day by day」** 5.30　Wed.  とあるコンクールにでもだしてみようかと、絵を描いています。ひとつの指標になればよいと。しかし、また仕上げよう精神が、華々しく登場しようとしてしまいました。うっかり陥るコンクールの落し穴。追いつつ放つ、、、追っているとむずかしいが、放つと楽しくなってくる。。。　どうも、私の絵はコンクールには不向きなようだ。 | | |
| 5.30 Wed**「I am HOUSE　-44-」**  夜まったりとホットココアを飲んでいたら、突然、住人が、「吸血鬼にならないよね？ね！？」といいました。「ならないよ。」といいましたが、どうしてそんなことを思ったのだろうと不思議でたまりません。 | | |
| 5.21 Mon. **「moon and sun」**  太陽と月と地球、しかも今いるところが一直線に並ぶというのは、なんだか出来すぎた奇跡である。平安時代以来というのだから、いろんなことがおこっても不思議ではない。。。月の影で欠ける太陽をみていたら、月の光も太陽なのか、とあらためて思った。 | | |
| **「江の島」**　5.5　Ｓａｔ．  誕生日、とってもいいお天気だったので、江の島へいった。しかし、ゴールデンウィークのすごさを思い知った。江の島の坂道の参道がびっしりと人、人、人で大渋滞！！引き返そうかと弱気になったが、ひとまず上へと向かった。どうやら、上へいくほど下る人に圧され、スペースが狭くなり、最後は、猫が一匹通れるほどの狭い道路際を通るのことになる。笑った。もちろん、帰りはその逆で、人気のたこせんべい店辺りになると、下る人は忍者のようにヨコ歩きすることになる。  とはいえ、頂上で眺める海は絶景であった。かつてのまずうまラーメンの食堂もこわれそうな展望台もずいぶんときれいになりさびしい気もしたが、来てよかった。。。水平線は丸い弧を描いている。実家から眺める海と似ている、、、というか同じなのだけれど。 | | |
| **「create」**　5.2 Wed.  最近わかってきたことは、「壊す」という言葉のいみ。ゼロに戻す、またはマイナスにしてしまうかもしれないという覚悟が必要ではあるが、そこから新たな世界がはじまる。「創る」っていうことなのかもしれない。 | | |
| 4.24 Tue.　**「REAL」**  いつの日か悩まずにぽこぽこっと作品ができることを夢みていた。ようやく、そんなことはありえないということに気付いた。ずっとずっと先をいく先輩方も必ず、毎度、限界点までいっている。そこからが、出会いと発見のはじまりなのである。私の中にはおおいなる誤解と、頓珍漢な理想があって、ときどき邪魔をするのです。怠けている場合ではありません。 | | |
| 4.23 Mon.　**「雨」**  ひとり、アトリエでいろいろ考える。こんな静かな雨の日は、感傷の湖でおぼれないように要注意だ。 | | |
| 4.11 Wed. **「start」**  はじまりは何でもいいように思う。まず、コップに浮かんだ花びらを描いてみた。最初はかたちを追っているのだが、だんだんそうでないことに気付く。半分水にとけかかった、紫色が抜けかかった、水に溶ける花の大きさみたいなものを描きたいのだ。捕まえようとする姿勢の連続の向こうに何かが現れる。待っていてはいけない。いろんなことがシンプルになっていく。さあ、はじめよう。。。 | | |
|  | **「strawberry dream」** 4.1 Sun.  きょうから4月です。イチゴ狩りにいってきました。とにかくはじまる、新しい季節。身体の中からフレッシュに！アイベリー、章姫、紅ほっぺ、、、年の分くらいは食べたかな。。。 | |
| 3.16　Ｆｒｉ　**「卒業式」**  社会にでてしまうと、自分が何か決断しないかぎり、卒業もなく日常がつづく。。。最近思うのは、自分自身が積極的に決断すること、それがはじまりのような気がします。 | | |
| **『いるのいないの』**　3.5 Mon.  ふと、書店の絵本コーナーで少々不気味な挿絵の本を手にとりました。作家は京極夏彦。絵本や童話に怖さは紙一重でつきものですが、おちは意外にも衝撃的。さすが、京極さん。。。 | | |
| **「I am HOUSE　-43-」**　2.17 Fri.  ここのところ、巷ではやりのインフルエンザがひたひたと近づいてきました。突然、 住人が40度近い熱をだし、あっちっちになってしましました。それから、ばたばたと町の小さな人たちが猛威にやられてしまいました。これがインフルエンザか、と眼にみえない敵の怖さをしりました。やはり、冬場は多少体が大きくなっても頑丈であるべきだ、と痛感しました。住人の咳を顔面にあびながらも、私は大丈夫でした。。。 | | |
| 2.3　Ｆｒｉ．  　はや、２月。「あっという間」という言葉がきらいですが、ぼやぼやしていられません。。。ある文章を寄稿したのですが、言葉の重さがまんまはねかえって参りました。やる気と怠惰の空回りに日々葛藤しております。 | | |
| 1.20 Ｆｒｉ.**「初雪」**  すごい勢いで雪が降ってます。今年もカマクラ作ることになるのかな、、、やだな、、、。 | | |
| 1,15 Sun.　**「ひとそれぞれ」**  人の集まるところへいくと、つくづくいろいろな人がいるなあと感じます。とくに日曜日は、いろんな家族をみることができます。家族構成も年齢も住所も職業もちがう人たちですが、今ここにはスパゲッティを食べたい人たちが集まっている。今共有するこの空間で(　)、買い物をしているこの町で(　)、同じ時間を生きている(　)、、、全然ちがうようでもあり、なんだか近いようでもある。みんなちがうという点ではみんな同じなんだろう。。。 | | |
| **Ａ　ＨＡＰＰＹ　ＮＥＷ　ＹＥＡＲ　２０１２**  今年もよろしくお願いいたします。昨年は、震災の影響でいろいろありました。。。とにかく、皆さまの健康と平和な日常をお祈りいたします。変わることを恐れず、ただただ前へ進むのみです！！！ | | |
|  | | |
| **「postman」**　2011.12.13 Tue.  最近、何十年ぶりに～するものが多いが、縄跳び。これは、私の小学校時代の特技のひとつ。しかし、二重跳びが～文跳びが～遠のいていきます。郵便やさんの手紙さえ拾えない、、、やらなきゃずっと、できるつもりでいたのかもしれない。もしかしたら、いまだ気付いてないことがたくさんあるのかもしれない、、、。 | | |
| **「ＹＡＫＩＴＯＲＩ」**12.11 Sun.  10年ぶりくらいに焼き鳥やにいきました。いつも炭火のいい匂いが漂うという駅で途中下車。においの方へ～小さな古い店にたどり着きました。匂いと味は一致するものです！！常連とみられるご婦人と会話したり、楽しい時間をすごしました。「きれい」という褒め言葉をいただき、これまた何年ぶり～、ようし明日からまたがんばるぞー！という気持ちになりました。いろんな説明よりも人をうごかす言葉はとってもシンプルだったりします。きれいな絵をかきたいな～ | | |
| **「ドッジボール」**　11.30 Wed.  昨日、何十年ぶりかでドッジボールをしました。 元バスケ部としては、多少の意地もありましたが、なかなかの負けっぷりでした。何事も継続していないと思うようにはいかないものです。 | | |
| **「believe」**　11.22 Tue.  一枚の絵がどんどん変わっていく中、いっそ思い描いたものを否定していった方が早いのではないかと思う。しかし、あくまでも、少しでも、肯定していく世界であってほしいとも思う。その作業はとても似ているのだけれど、結果はちがってくるはずである。 | | |
| **「三人娘」**11.9  看板娘も三人目となりました。普段は、アトリエの換気扇の上に鎮座しています。 | | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\doughters.jpg |
| **「水面」**　11.8 Tue.  確かに完成としてもよいのだが、なんだか浅い、、、などと言う私に、同志曰く、いや深い所は描けている。むしろ、浅い所が描けてない。　たしかに。今いる位置はみえているのだが、どれくらいもぐったのか、その幅についてはみえてなかったように思う。 | | |
| 11.2 Wed.　 **「I am HOUSE　-43-」**  人間の顔は、どうして絵に描くとかわいくなくなるのか？と住人がききました。どんなにかわいい子も、似せて描けば、少女マンガのようにはいかなくなる。。。ほんものの顔と絵に描いた顔、ふたつの世界に気付いたようです。絵の世界では、いろんなことができるのですよ。それが絵のおもしろさ、改めて気づかされました。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\autum.jpg「autum10.9 Wed. 秋をひろいに出かけました。長いことかかりました。。。 | | |
|  | **「fish」**　9.30 Fri..  陸の上でいくら泳ぐ練習をしても、イメージしても、泳ぐということは、水の中でしかできない。泳げなくても、思い切って飛び込む他ないのである。スイスイ泳ぐ魚になりたいな、キャンバスの海。 | |
| **「I am HOUSE　-42-」**　住人の小さな歯が一本抜けました。屋根の上に何度もなげるのだけれど、ころころともどってきてしまいます。むかし、私の歯が抜けたとき、なぜかゴミ箱に捨ててしまったのです。すると、円錐の歯が前歯の後ろにはえてきました。兄弟は「鬼歯」といってからかいましたが、幼心には応えました。なぜ、ゴミ箱に、、、と。 | | |
| **「新たな展開。」**　9.25　Ｓｕｎ．  ＡＬＬ　ＯＲ　ＮＯＴＨＩＮＧ　意外の展開が浮上した。絵でもそうなのだが、どちらでもない道には、いがいと未来がひらけるものである。 | | |
| **「銀ぶら」** 9.9 Fri.　　銀座往復3.5時間。ぶらり1時間。 なんとも贅沢。これぞ銀ぶら。  午前中の画廊は、作家さんが居られず、画廊の方も準備に追われ、かなり自由に絵を鑑賞できる。作家と話をするのが好きな方もいるでしょうが、私はこの時間がすきである。絵はすべてを物語る。園家氏の作品「星月夜」（画廊の奥　左）がとても印象的でした。もうすぐ満月です。。。 | | |
| **「end of summer」**　9.2Ｆｒｉ．  夏休んでしまいました。。。弱い弱いとしり込みしていた作品にバイバイ。やるしかない、わかんなくても描くしかない、結局、いきつくスタートスイッチはそこなのです。 | | |
| 8.16 Tue.**「送り火」**  あの世のひと、この世のひと、たくさん会ってきました。（けして見えるわけではありません！！！）お盆というのは不思議なセレモニーです。なんだか、宗教心のない日常に背筋をピンとさせるものがあります。墓前にお参りする隣で小さな子が、「ジュエリーデザイナーになれますように」と３回唱えてました。それでよい！ | | |
| **「新世代」**7.29Ｆｒｉ．  久しぶりに銀座の画廊にいきました。「新世代への視点」開催中。なるほど。。。そして、知り合いの絵が展示されているときいたので、住所をもとに探しにいった。重厚な扉に敷居がたかーいが、勇気をもって入ってみた。一枚云千万円、云百万のプライスリストに目が点。このような世界がまだあるんですね。。。あいにく上階へ行く勇気は持ち合わせてなくて、目的ははたせませんでした。 | | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\diamond.jpg |
| **「花火」**　7.18 Mon.  海の日を海ですごしました。震災の影響をうけたことが嘘のよう、、、にもみえますが、人が少ない。爪痕は眼にはみえません。そんな中、第二回砂アートフェスティバルが開催されました。砂の彫刻は昨年に比べ少なかったですが、一日にして殺風景な港が出店のテントでうめつくされ、夜になるにつれ、人々が集まってきました。劇場型花火は、音楽と共に10分位でしたか、その凝縮された内容に度胆を抜かれました。花火はやっぱりいいです。今年はいろんな所で自粛されましたが、こんなに元気をもらえるのに、もったいないような気がしました。 | | |
| 7.15 Fri.　**「my mission」**  ついこないだまでは、よく頭の中でどこかへいっていた。心の中へはいりこむ、というべきか、、、ふと、そこから居なくなる。すると、現実、とくに手元がおろそかになる。それをやめました。いつもそこに在ること。それが私の課題です。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\ikeyoko.jpg | 7.7 Thurs. **七夕**  すっごい山奥に住んでいるようにみえるでしょうが、毎度、人口のひょうたん池。わたしの新たな原点となったのでしょうか。。。今日は久々にみたくなって、回り道して帰りました。 | |
|  | 6.27 Mon**.「歩く作家」**  先日、知人の作家の先輩を偶然みかけたという話をきいた。10年ちかく会っていない。思考しながら歩くその横顔を私も思った。今、自分はどんな顔してるんだろう？と喝をいれた。 | |
| **「無意識の意識」**　6.15 Wed.  もしかすると、今までの作品を成り立たせているのは、できた！と思ったところでなく、できないできないと格闘した部分だったりするのかもしれない。なんとかしたいと上を目指すところにパワーが宿るということに、最近気が付いた。遅い？ | | |
| **「カイガテキ。」**　6.10 Fri.  波打ち際のベット、傾いた椅子の上で踊るダンサー、砂漠の中のその影、透明な人影、みえない階段、、、と、最近みるＰＶの一コマである。とても絵画的で理屈なく美しい。意味なんてない。でも、たしかに感じる。絵画ってそんなもの。 | | |
| **「possibility」**　6.9 thurs.  想定外のことがおこりうる世の中。今までのデータで今をしめつけてはならない。「今」は、自由で新しくなければ。。。 | | |
| **「cherry 」** 6.4　Ｓａｔ．.  さくらんぼ狩りにいってきました。30分食べ放題といってもそんなにたべられないものです。Ｙ字低木仕立の果樹園はそれは見事でした。→ | | .C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\cherry.jpg |
| **「place to start 」** 5.27 Fri.  これは、感覚的なことかもしれないが、描くという意識でいると、どうも私が絵の中で主導権をもってしまいがちになる。もうやりようがなくなって、一歩しりぞいて,塗る人の意識になったら、できることがみえてきた。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\yoyogi.jpg | **「one day JAMAICA」**　5.23 Mon. 　毎年恒例の代々木公園でのタイ・フェスは、今年は自粛中止となり、ジャマイカ・フェスへと出向いた。美大の文化祭のような雰囲気。ジャマイカは未知の領域だが、レゲエ調の野外ライブ、なんとなく人々がリラックスしてジャーク・チキンなどをほおばる、昼間っからシートを広げ寝ころぶ、真夏のような暑さの中、生ビールを飲む～、学生が演劇の練習をする、こどもたちが駆け回る、垣根のない世界に平和を感じた一日。。。 | |
|  | **「endless」**　5.15　Sun.  たまごっちを買いました、ごはん、うんち、、、とお世話はけっこう大変です。久々に、長いこと筆をにぎり、昼食をすませ、ハッと数時間後にみてみると、置手紙が、、、出て行ってしまいました。軽いショックで立ち直れず、改めて大変なものを飼ってしまったことに気付きました。 | |
| 「I am HOUSE　-41-」  久しぶりに私の家“house of houses”で仲間たちと集まりました。住人は、雲のshushuが大好きです。突然、住人が泣き出しました。理由はいいません。あとでそっと聞くと、shushuのエビフライは2本、自分のは1本だったというのです。私はとても申し訳ないことをしたと思って、そっともう一本お皿にのせてあげました。涙にはいろんな涙があるのです、大きくなるほどに。 | | |
| **「帰郷」**5.5　Ｔｈｕｒｓ．  大地震以来はじめて茨城の実家へ帰省した。あちこちの瓦屋根が崩れたとみえて、ブルーシートと重石の袋がのっている。漁港の中央には近隣から集められたがれきが、木片、コンクリートと区分けされ山積みになっている。一見、以前と変わらぬ景色が広がっているが、事実をまのあたりにする。　なんだか帰るのが怖かった、無性に帰りたかった場所である。いつもと変わらぬ穏やかな海。 | | |
| **「change, no change」** 4.27 Wed.  世界は刻々と変わっているのに、私は私のままである。心境の変化が絵を劇的に変化させることを期待したところで、うそっぽい。進化はあーでもないこーでもないところからはじまり、その先へとつづくところにのみ開ける。 | | |
| **「remember」** 4.18 Mon.  なんだかいろいろ考えさせられたが、けっきょくは考える前に手を動かそうという結論。絵を描く心準備ができない、、、と思っていたが、描くことにより心が整ってくる。悩むことも多いが、やっぱり描くことは面白いと思う。手と眼がいっしょのときの感覚。 | | |
| **『老人力』**　413　Ｗｅｄ．  80歳をすぎた父が屋根の尾根にのぼった。地震で崩れた瓦のプチ修理をはじめたそうだ。母は、店にパンがないから、といって食パン４斤とあんぱん２０個をを作った。知り合いにおすそ分けもした。津波注意報がでても覚悟をきめて、家で大の字で寝ていた。驚くことばかりである。おそるべし！老人力！！おろおろするのは私ばかり。。。 | | |
| 4.8 Friday  心配事はつきませんが、まずは目の前の桜をたのしみましょう！！すべては、一歩一歩です。 | | |
|  | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\sakura.jpg |  |
| **「like a　flower」**　3.24 Thurs.  今日は、仙台から生還した作家の友人と会うことができた。過酷な状況に驚くばかりだが、時々笑いあり、というのは彼女の最大のチャームポイントだろう。こんなとき、絵ってどうなんだろうね、、、？と話はうつる。被災地に届けるわけにもいかないし、皆で力を合わせてっていうもんでもないし、ただひたすら、地味～に描き続けるしかないよね、と。まずは命、生活、絵はまだまだ先のものになるであろうけれど、きっと必要だよね、と。「絵って花のようなものなのかもしれないね。」と彼女が言った。。。 | | |
| **「I am HOUSE　-40-」** 3.19 Sat.  きりんは、哀しいとき「パオーン」ってなくんですって、と住人が教えてくれました。人は突然かかえきれない悲しみに遭遇すると涙もでないのです。家はただ立っているだけ、、、ともいかないようです。今いるところから流されてしまったら、とってもとっても哀しいだろう。。。 | | |
| **. 「earthquake3.11」**　3.13 Sun.  たいへんなことになりました。一昨日の地震はかつてないほどの揺れを経験しました。幸い我が家は無事ですが、茨城の実家は被災をまのあたりにしています。幼いころから恐れていた津波は、目の前でとどまってくれたようで、家族の無事に安堵しました。目前の海が豹変する恐ろしさ、、、ニュースでみた東北地区の様子にはなんとも信じられない光景ばかり。。。2日たち、街中へいくと、いつもと変わらないように、一見平和そうに歩いている人たち。変わらぬ日常を過ごす人々。なんだか、へーんなかんじです。でも、そういうことなのでしょう。。。どちらもほんとうなんでしょう。。。  どうか、宮城、福島の友人たちが無事でありますように。。。 | | |
| **「spring sleep」**3.10 Thurs.  最近、なんだかとっても眠い。集中力にも欠ける。絵もすすまない。すべて春のせいにしてしまおうか、、、？こんなときは、もっと春を楽しもう！ | | |
|  | **「around a dam」**　2.28 Mon.  いきなり山が現れた。日頃、山は遠くにあるものというイメージがあったのでなんだか圧倒された。思い込みはあっさりとこわされるものである。 | |
| 2.23 Wed**. 「dance」**  身体をつかって表現するということはほとんどないのだが、ここの所、あるダンスを密かに練習している。。。いざ、手足を動かしてみると、いろいろと不具合が目につく。2，3回踊ってから絵の前に座ると少し感覚が違う。絵を描くのも身体とすごく直につながっていることに気付く。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\oubai.jpg**「百草園」** 2.16 Wed.  　雪の名残のなか、梅をみてきました。黄色やピンク、白、、、普段は地味な梅の花が鮮やかに映えます。 | | |
| 2.7 Mon.  体調復活！お腹の風邪が突然きてあっというまに去りました。健康なときは、前向きなことしか考えませんが、弱っているときは最悪のことまで考えてしまいます。心と体は直につながっています。 | |  |
| **「mental leading」**l 1.30 Sun.  最近、小学生以下のチア・リーディングチームのパフォーマンスをみました。年中さんはまあかわいらしさでバラバラでもほほえましい。年長さんになると、半ばプロ意識が芽生える。みせる動きというものをかなり意識している。小学生は、もう大人顔負けである。新たな技の数々に驚くばかり。キレのある動きにほれぼれするくらい。その中に通ったりんとしたものをみた気がした。 | | |
| 1.20　Fri. **「HANAKAPPA」**  アニメ、はなかっぱは、頭の上に花を咲かせることができる。いつか自分の花をきめるまで何度でも。絵を描いていると、画面の上にイメージの花が幾度も咲くのだが、消えていく。それを消してよかったのか、いい加減それにきめようか、なやむことばかり。たぶん、まだみたことのない「わからん」という花を私も絵の中でみたいだけなのかもしれない。咲いたときにしかわからんのでしょう。。。 | | |
| 1.19 Wed.  実家にあったキャンバスをまとめて正月に送り、次から次へと描きます。一日さぼります。当たり前だけど、止まると絵が止まっってしまうんですね。一度止まると、次の一歩が臆病になる。氷ってはいけません。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\koori.jpg | 1月11日  ひょうたん池氷る。 |  |
|  | 1.8 Sat**.「first luck ?」**  年末からたくさんの人に会ったせいか、ずいぶんと濃い時間をすごしたようだ。新しい一枚をかきはじめてみた。でき上がった。ここのところ、ねちねちと重ね小さくまとまっていたせいか、できるときは実にあっけない。いつも新鮮な心持ちでまっすぐに描けたらいいんだけど。 | |
| A HAPPY NEW YEAR ●  **2011.1.1 　新しい一年がはじまります。　今年はパワフルに一年かけぬけたいと思ってます！！** | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **「to be continued」**　2010.12.29 Wed.  地元、水戸のアートワークスギャラリーが今年末で閉廊することになった。最後の展覧会（ミニアチュール２０１０出品）も無事終了した。とてもよい画廊だったので、とても寂しい。以前、廻っていた銀座の画廊もだいぶ少なくなった。知人が病を背負ったり、仕事でたいへんだったり、頭をかかえることもしばしば。自分になんとかできないものかと考えると、もっともっと描くしかない、、、それしかないようである。2008年個展の機会を下さったアートワークスに残してもらったものをつづけていくことができるはずである。 | | |
| **「invisible touch」**　12.23 Thurs.  絵とは、眼にみえるものなのに、みえないものがないとだめなんだって思った。もちろんみえてるものがすべてなんだけど、みえるものしかないってときはちょっと哀しい。 | | |
| **「slow starter 」**　12.20 Mon.  多くのことは、自分自身はきづいていない。絵をかいていると、そんな時がよくおとづれるが、そのことに気付ける機会も多い。今気付いたことをどれだけやれるかが勝負である。 | | |
| **「small message」**12.7 Tue.  今日、12月14日からはじまる展覧会に出品する絵を選ぼうと思います。いつもいつも最後のところで見失いそうになります。どうどうめぐりからなんとかぬけだすには、自分の思いを一切すてること。そうしないと抜け出させてもらえないのである。無力ながらも全力を尽くすだけ。小さくてもほんとてこずりました。 | | |
|  | **「lost bat」**　12.7 Tue.  遠い記憶である。かつて旅館をしていた実家の大風呂に一匹のこうもりが迷い込んでいた。隙間から迷い込んで息たえたにちがいない。小さくておもちゃのようでもあるが、しっかりとしたほんものだった。 | |
| **「yes ,or no?」** 11.28 Sun.  いろんな手をこころみて、かなりあいまいなところへたどりついた。これでよいのか、なんとか？すべきか、なんとかってなんなのか？？こうなると、ただ深くふかく集中して耳をすますしかないのである。 | | |
| **「贅沢な時間」** 11.19 Fri.  銀座の画廊を２軒だけ回って帰ってきた。片道１時間半。贅沢なwalking コース。２作家共に不定形に切った板の上で絵画した作品であるのだが、切断面の扱い、形の意味合いは真極にちがう。なのだが、、、そのかたちの際がきになる。もっと無骨でそのまんまでガツーンとした画面の中へと欲求するのは私だけなのでしょうか。 | | |
| **「walking 」**　11.18　Thurs.  歩いていると、頭がぐるぐる回転しはじまる、勝手にいろんなところへ旅をする。天気がいいので山の上のスーパーまでひと歩き。帰り道、意外と重い買い物袋をぶら下げて坂を下りはじめると、重力がのしかかる。現実逃避はいけません。歩くときはもくもくと歩こう。 | | |
| **「get over oneself,　don't lose myself 」**　11.12 Fri.  正しい目をもつためには、頭をおやすみすること。 | | |
| **「every monent」**　 11.10 Wed.  最初は、期待すべきではない。。。そうそう、この感覚。格闘した割に充足感はない。これを積み重ねなくては作品になっていかないことがわかったので、よしよし、と考えることにした。感情に流されると大切なものを見失う。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\butterfly.jpg | **「楽園」**　11.3 Wed.  色とりどりの蝶が一面に舞う楽園に迷い込みました、といった衝撃。動物園の昆虫館の温室にて。いきなり夏、南国の花が咲き、警戒心のない蝶が手にとまり、きっと「楽園」ってこんなとこなんでしょう？ | |
| **「small light」**　10.28 Thurs.  まず、私が小さくならなければならない。小さいちいさいキャンバス地にクロッキーをすることしばし、、、そして、0号キャンバスの海へと飛び込む！けっこうひろーーい！ | | |
|  | **「I am HOUSE　-39-」**10.27.Wed.  人には走るのがはやい人とおそい人がいるのはどうしてか？と住人にきかれました。たしか、前に声がちがうのはなぜか、ときかれたことも。なまえも顔も生まれた日も住んでるところも、家族も背のたかさもすきなものも、ぜんぶちがってるから、その人になるのです。いろんなちがいが気になるものです。 | |
| **「small magic」**　10.24 Sun.  小さい絵というのは、とてもやりにくい。タイムリミットが早くおとずれるので、もたもたしているひまはない。かといってひとつおいてこないといけない。。。一日一枚を目標してみたが、はたして何枚できるのでしょう。。。 | | |
| **「Let's Go Catch　!」**　10.18 Mon.  運動会のプログラムのひとこま。出場者は幼稚園児。一対一で二手に分かれた同志が笛の音とともに真ん中に敷いたマットの上のボールめざして走りこむ。ボールを取り陣地に持っていき両手で上に掲げたら勝利！というシンプルな内容なのだが、ドラマがある。どんなにねばっても限界はやってくる。ボールひとつを奪い合う真剣さ、欲しいという人間の本能は幼い心こそ正直。負けた涙の美しさにもらい泣きしそうになる。 | | |
| **「彫刻の森」**　10.12 Tue.  旅先の美術館にて加藤泉展をみる。鮮やかな色彩の木の彫刻は圧倒的。でも、ユーモラス。大雨の中の足湯、野外彫刻。雨にもまけず彫刻はたくましい。。。 | | |
| **「ｒａｉｎ」**　10.3　Mon.  雨がふっています。ひさしぶりに手ぶらなかんじです。  個展を見に来てくださった方、またＨＰにて展示をご覧下さった方々、本当にありがとうございました。  さて、描きかけになっていた絵にとりかかろうと思います。。。 | | |
| **「opening」**9.28 Tue.  無事、個展がはじまりました。ぎりぎりまでねばりました。展示してはじめて自分で確認することもあり、やっと言葉の介入ができました。  その絵は自分が描いているのだけれど、あるときから絵そのものになる。そのとき頑なに自分にひきよせないでそのものをすくいとることができるか、、、よりそうことができるか、、そして、それが作品となりえる。 | | |
| **「coming soon」** 9.20 Mon.  時間をつむぐように制作してます。あきらめかけていたものが突如できあがったり、こつこつ作っているものがいまだ出来上がらなかったり、個展一週間前とは思えないようなアトリエ状況です。ぜんぶ一週間で出来上がったらえらいことになりますが、つづけたいものがずらっとあります。どれが顔をならべることになるのかぎりぎりまで自分でも？です。 | | |
|  | 9.14 Wed.  個展の案内状送りました。ご高覧のほど、よろしく願いいたします。  このときが一番どきどきします。 | |
| **「all at once」** 9.13　Mon.  今日中に完成させようと夜中がんばってみた。できたのか？まだなのか？判断は朝の新たな目にまかせる。　この絵に関しては、設定をしてはいけない。たぶん、そのときは、突然におとづれるはず。私はタンタンとつづけ、それを待つしかないのである。 | | |
| **「」** 9.6 Mon.  わたしはよく絵画でつじつまをあわせようとしてだいじなものを見失ってしまうときがある。とそのことを同志に話すと、そもそもつじつまなんてものはないんだよといわれ、完成をいそぎすぎたというと、それは完成ではない、といわれる。ないものにふりまわされていると思っていても、きっとわたしがひとりでまわっているだけなのでしょう。 | | |
| **「in the dark」**8.27 fri.  パソコンがこわれました、、、というか画面の光が消えてしまいました。真っ暗な画面に光をあてると、かろうじて中がみえます。操作できます。そんなわけで個展前だというのにHPのほうはちょっと画像をいじることはできなさそう、、、  今日、プラネタリウムにいってきました。暗闇に光る星星、、、かなりちがうけど、宇宙の神秘にめんじてこんなこともありかと思う。。。 | | |
|  | **「blueberry island」** 8.22 Sun.  今年もブルーベリー摘みに近くの農園にいてきました。昨年より一ヶ月遅かったせいか、とても甘く実も大きい。地道に摘みとりかごに増えて行く幸せを味わう。ときどき口にいれつつ。。。 | |
| **「sand art」**　8.18 Wed.  すこし風化した砂の彫刻をみてきました。きっとできたばかりのときは、圧倒的な風貌をみせていたのでしょうが、風雨にさらされて半分自然と帰っていくその姿は、わたしにはすてきにみえました。残念なことに、それをどうみるかは人それぞれのようで、そこに踏み入って壊す人がいたことがニュースになりました。 | | |
| **「　SUKIYAKI　」**　8.1 Sun.  真夏のすきやきもおいしいものである。汗を流しつつ肉ほおばる。久々の銀座の画廊、間際の個展、微妙な案内状、お人形ごっこ、、、頭がまわらなくなっても身体に栄養をあたえるにはもってこい。 | | |
|  | **「green」**　7.25　Sun.  もうすぐ案内状が出来上がります、どきどきです。気がつくと、緑色の作品が多い気がします。わたしもすっかり山の人間になったのでしょうか、、、。先週みた『アリエッティ』や『ピーターパン』、みどりづいてます。 | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\airplane.jpg | | |
| **「うろこの眼」**　7.11Ｓｕｎ．  私には二人の心強い見方がいる。よからぬ方向に絵がすすみはじめると、彼らのレーダーがキャッチする。容赦ないパンチがわたしのうろこをぶち壊してくれる。いったい私は今までなにをみていたのでしょう。。。 | | |
| **「DM limit 」**7.4 sun,  早めにＤＭ作品も完成させて、制作をばんばん仕上げていく！つもりでいたのに、5月中、6月中、、とうとう本当のリミット、7月2週目までねばってしまった。人生予定どうりにはいかないものである。はっきりいって、何が起こるかわからないというより、描ける時間が稀有と思っていた方がいいような気さえする。濃密度アップ！せねばならない。ねばった分だけよい仕上がりに期待したいものだが、、、。 | | |
|  | **「I am HOUSE　-38-」**　6.23 Wed.  たまご型の月を住人と愛でました。月が連想させたのか、「死」はどうやっておとづれるのか聞かれました。理屈は説明できるけれど、実のところ私にも今だわかってないのです。 | |
| **「HAYABUSA」**　 6.14 mon.  宇宙から長年の任務を終え、無人探査機が地球へ帰ってきた。はっきりいってそういうロマンにはうとい。。。あと五分で着陸する、というライブ中継をみながら、ふと隣の部屋の鞄にメモをおきにいった瞬間、「着いたぞ！」の声。見逃した。宇宙の大きな一歩は私には縁遠い。。。 | | |
| **「I am HOUSE　-37-」**6.5 sat.  ある家がなくなりました。その家はあたたかく4人の子どもが住んでいました。私も住人も知っている家でした。それは、突然のこと。「死」について住人に聞かれました。いろいろななくなりかたがあります。難しい問題ですが、住人にもなんとなく大事なものが突然きえるということがなんなのか、、、感じたようです。あの家はなくともあの家族は元気に生きていかねばならず、「生」も「死」も残酷ですが逞しく、生きている証しとしかいいようがありません。。。 | | |
|  | **「whipｃream」**5.27 Thurs.  つぼみがかわいい。。。 | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\whip.jpg |
| **「I am HOUSE　-36-」** 5.20 thurs.  私の夢はなにか？と住人に聞かれました。これまで世間には秘密にしていたことでもありますし、宣言するのも野暮な気がして、声を大にしていったことなどありません。折り角、アニメで引っ込み思案な主人公が自分の夢をはずかしがって言えないでいると、夢がにげてしまう～というお話がありました。私と住人が今後つきあっていく上でこのことはとても大切なことになるでしょう。。。わたしは明日から屋根に看板でもたてましょう、「えかきや」とでも。 | | |
| **「 wait and ruｎ　」**　5.10 Mon. 　　もやもやをそのままにしておくというよりも、もやもやしたものをそのままもってくる。そんなような作品がたまってきました。かたっぱしから片付けたい！欲求をおさえつつそのときをまってます。 | | |
| **「up-side down」**　5.1 sat. 　　今日、何十年ぶりかで逆上がりをした。といってもできなかった。。。鉄棒の半分さえいかない下半身の重さにガクゼンとする。随分とよぶんなものをいっぱいと身に付けてしまったようである。 | | |
| **「らしく・・・」**4.22 thurs.  わたしらしくあることはよいことだが、わたしがよいわけではなく、よくもわるくもわたしらしくあればよい。 | | |
| **「no border」**4.21 wed.  わかるところだけ描いていこうと思ったり、わからないところで描きすすめることが大事だと思ったり、それらは同時進行でやってきては消えていく。 | | |
|  | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\hanataba.jpg | この花のなまえをおぼえているのは私だけ ? |
| **「SAKURA rain」**　4.12 Sun..  雨がふっているのかと思うくらいの桜の花びらが窓から見渡すかぎりにまっていた。おかげさまでお花見がいっぱいできました。咲いてるのも舞っているのも散っておちているのもきれいだ。「きれーい」と思う気持ちはいろんなことにいいみたいで、なんだか素直になれる。 | | |
| **「rain rain rain」**4.5 mon.  雨のせいにして、いろんなことを先送りにしています。やりたいこと、行きたいとこ、会いたい人、やがて山積みになって身動きできなくなる前になんとかせねば。よし、まずは花見にいこう。 | | |
| **「movie 」**　3.29 Mon.  アニメ、「プリキュア」の映画をみてきました。先週は画廊を廻りました。ぜんぜんちがうけど、けっこう楽しいです。いろんな世界があって、みんないい仕事してます。 | | |
| . | **「classic 」**　3.28 Sun..  歌詞のない音楽は絵画のようです。　聞く人それぞれが想うところ。 | |
| **「refresh ?」**　3.22 mon.  たいしたストレスもない私が、連休、海から帰ってきてからなにか変化したようだ。継続することで進んでいると思い込んでいたことは逆周りで、引いていくことで出来ていくこともあることをみつけた。時間の進み方とはべつのところで。 | | |
| **「I am HOUSE　-35-」** 3.14 Sun.  住人から手紙がとどきました。　「あいうえお」は読めない住人ですが、ことばをことだまにかえる方法はご存知のようです。ひとに伝えるためには、多くのことは必要ないということに気付かされます。ことばはあとからついてくる。 | | |
| **「sweet pain」**　3,10 Wed.  めとはとえがよろしくない、、、数日がすぎ、めのごろごろはすぐにとれ、はのいたいたも次第に治まり、絵もあと一歩というとことまできたのに、絵だけがふたたび、、、撃沈。 | | |
| **「I am HOUSE　-34-」** 2.27 sat.  きょうは、思い出のつづきをつくりました、と住人が教えてくれました。「おもいで」とはまるくてカラフルでふえていくものだそうです。まだフレッシュな「おもいで」が思い出にかわるとき、月日はどれくらい流れるのでしょうか。 | | |
| **「take a goal！」**　2.17 wed.  バスケットでたとえると、、、パス回しだけでは永遠に点ははいらないよ、といわれた。  ゴールを決めようとする執着心が必要なことはわかっている。遠のいたり近づいたり、わからないことばかり。ほんとはわかってる。 | | |
| **「unfinished」**　2.14 Sun.  ここしばらく絵が出来上がっていない。。。このまま永遠につづくのか、、、と心配していた。でも、絵を完成させようという意識は描いてる時は必要ないのかも。ただつづく中でどこでやめるか、だ。まだ機がきていないと思いたいところ。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\kitone2.jpg | **「ki to ne 」**　2.4 thurs.  木には地下に根っこがあり、　家の外壁のしたには骨格があり、みえている部分とおなじ位、みえない部分もあるということ。すべて半分こ。 | |
| **「little by little」**1.31 Sun.  毎日こつこつ描いてるといいことがある。何度も何度も失敗してるといいこともある。そろそろ自分をおいといて、目に正直になろうかな、、、と。すると、なんだかちかづいてくる。 | |
| **「lost goal」**　1.25　Mon.  白紙の時点からめざしていた地点が、ゴールでないことに気付いた。たぶんここではない、、、完全に見失った。でも、なんだかほっ、ともした。 | | |
| **「spirit not taste」**　1.17 Sun.  やりたいことをする、のとやりたいようにするとではかなりちがう。 | |  |
| **「river 」**　1.11　Mon.  新しい絵を描き始めると、いつもどちらがいいのかと悩む地点がある。かたちをどこまではっきりと現すか、、、これはどちらでもないという答えをうけいれる地点でもある。早く決めたいという衝動を曖昧な「そのまま」というながれにまかす。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\taco.jpg | **「taco to tora 」**1.5 Tue.  おみくじで大吉がでました。動物園で虎が大きな声で啼いていました。凧は大空を高く高くとびました。そんな正月。  日々がはじまる。。。 | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\tora.jpg |
| **A Happy New Year 　２０１０** 　　　2010. 1. 1 Fri.  　今年は健康であたたかい年にしたいです。　みなさま　よい一年となりますように。。。 | | |
| **「ジャムを作る人」**　2009.12.23 wed.  マーマレードが切れてしまいました。振り返ると、いつも手製のマーマレードをくださる方がその都度居り、買ったことがありません。私にはジャムは作れませんが、そんな味や、音や、ぬくもりが伝わるように、絵が描けたらと思います。 | | |
|  | **「no recipe」**　12.11 Fri.  レシピどうりのチョコレートケーキが出来上がりました。まあまあの味だが、一生懸命なかんじがなんとも、、、。泡立て筋肉通もいやーなかんじ。ケーキはもっと楽しくなくてはならない。シンプルで美しく軽やかにおいしく！絵を描く時間さえなくなり、筆でかいているばやいではなくなる。どうしてわすれていたんだろう、スポンジ！かつて麦茶やインクで使用した大量のスポンジを手に取り、型のない世界へとすべりだす。 | |
| **「1 hour and half」** 12.2 thurs.. 　　平日の銀座を歩くのは久々である。 限られた時間は1時間半。意外にも画廊5件とラーメンや一軒を廻ることができた。そして、来年の個展もきまり、足早にかえる。。。 | | |
| **「dried fruits」**11.24 Mon.  　おとといからドライフルーツにはまっている。まつりの物産品の露店で測り売りをしていて、たまたま試食したのがきっかけ。ほとんど全種類あじみした結果、キンカンと生姜糖を購入。キウイとイチゴのおまけ付。ちょっと刻んで紅茶にいれるのもよし、お茶請けにするもよし、ほんと美味しいしカゼにもききそう！！もうなくなりそうなので、ネットで探してみた。いやはや、、同じ値段で3倍の量が買えるのですな、、、でも、パソコンでは味見したり、切り口をみたり、熱々の紅茶を飲んだりはできませぬ。。。なにごとも出会い、それに感謝。 | | |
| **「colours 」**　11.12 Thurs. 　もうすぐいちょうも眩しいくらいの黄金色に染まる頃。そうだ、いちょうより早くその色もらってしまおう！みてから描くのでは遅すぎる。鈍すぎる。 | | |
|  | **「drawing」**　11.8　sun. 　　白いキャンバスのある幸せ。絵筆を動かせる幸せ。描きたいものから脱出する幸せ。 | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\aruku1.jpg | **「take a walk」**　11.1 sun.  ここのところ、歩いている。道草するのを忘れてた。回り道、より道、大発見。 | |
| **「lost Octover 」**10.25 sun.  ながいこと病っていました。たいした熱ではなかったのですが、診察にいって隔離されたときは、焦りました！？幸い、インフルエンザではなくケアレスミスの積み重ねがたたったようで。。。健康ってすばらしい。。。健康でわずかながらも絵を描くことができる時間がつくれることが、こんなにも尊いこととは思いませんでした。今では健康そのものの私ですが、残された時間の少なさを身にしみる。やるべきことをやっておかないと！！ | | |
| **「the choice 」** 10.3 sat.  どちらの方向にうごくべきか、すごく悩むことがたびたびある。もちろんどちらかへことをすすめるのだが、ほんとにこれでよかったのか、ひきもどそうか、とその後もそれが正しい判断であったかあやしい時もある。絵におきかえてみるとよくわかる。まよいつつもひとつひとつすすめていく、後戻りはきかない。えらぶべき方を選んだからこそ、もう一方もありといえるのだ。両方ありといえる状態こそベスト。まよったりうたがったりはするけれど、後悔はない。 | | |
| **「short story」**　9.30 wed..  好きな作家が短編小説は、彫刻のように削っていくもの、、、といっていたのを思い出す。なんだか、重ねて重ねて複雑になってなやんでいるのがばからしくなった。数年ぶりかで自分で真っ白いキャンバスをはった。入口がひらいた、色はシンプルに、削っていくように足してみよう。短編小説のように。。。 | | |
| **「silver week？」**　9.24 Thurs.  気付けば木曜日。なぜか夕べは走馬灯のように、いろいろな出来事が頭をめぐりました。苦笑せずにはおられないこと、ぽっかりとせつないこと、ほんといろいろ。そんなこんなでひっくるめて、でも描きたいなあと、いい絵が描きたいなあと素朴に思うのでした。。。あぶない、あぶない、それすらものみこんで、平常心。 | | |
| **「grape vein」** 9.13 sun.  ぶどう狩りにいってきました。頭上にたわわになったぶどうが見事にぶらさがり、たくさん食べました！ブルーベリーとはまた違った醍醐味と興奮が味わえますね。。。 | | |
| **「I am HOUSE　-33-」** 9.7 Mon.  はなしのながれで、地球はうごいているんですよ、と得意気に住人におしえてあげました。すると、「なぜ地球はうごいているの？」「ねえ希望ってなに？」「人ってなにでできてるの？」「ハートのにおいってどんな。」投げかけるお題の深さに日々かんがえさせられます。深さと俊敏さ、とっさにでてくる答えの真髄は自分自身をものがたる。 | | |
|  | **「clean up」**　9.6 sun.  部屋のそうじが隅々までいきわたり、飾ってあるＤＭの色の鮮やかなこと！視力がアップしたような錯覚。描きかけの絵は相変わらずではあるが、そろそろ、踏み込まねば！あたまの中のもやもやの雲もすいとってしまいたい。進まなければ道はひらけない。 | |
| **「I am HOUSE　-32-」** 8 30 Sun.  台風がきています。。。わたしの雨漏りは、住人が治してくれました。わたしは家です、アメニモマケズ建ちつづけなければなりません。でも、わたしが建っているのは、たくさんの手によってあるということです。みえているのはほんのいちぶ。知っているようでしらないことだらけ。でもそれを知っていることはきっと大きな一歩となるはず、小さな家の、大きな。 | | |
| **「life, alive」**　8.23 Sun.  身近な人が逝ってしまった。　数日前に電話で話したばかり、まだ話の内容も声もおぼえている。いくら考えても理解できないまま、横たわるそこにはすでにその人は居ないということを目の当たりにする。。。その人の命そのものこそが、その人であった、、、在るのは、命。わたしたちのなかに　　わたしたちは見えないものをしっかりとみている。 | | |
| **「slightly」** 8.16 Sun.  かすかなものを明確にしていくのが絵であって、明確なものを明確にかいてもいみない。それ自体はとても微か。見失ったらさいご。 | | |
| **「flying view」** 8.11 Tue.  久々のこの感覚にどきどきしている。やっと近づくことが出来た。かなりやばしの状況からの脱出のために、心底研ぎ澄ました。不思議と細部にこだわることなく、ひとつづつかすかなところへと向かう。その蓄積なのか、、、クリアなものを求めて身構えていたここのところの鈍さに今更ながら気付く。理屈や思考のとどかぬ世界を空から眺める、それこそがクリアなのだ。 | | |
|  | | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\mado.jpg |
| **「ocean view 」**　8.5 Wed.　　　　海へいってきました。目がいちばんやすらぐところです。何をするわけでもない目の前の海というのは、きもちのいいものです。目が自由におよぎます。。。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\berry0.jpg | **「 blueberry　」** 7.26 Sun.  はじめてブルーベリー摘みにいきました。背の低い木なので、わりと手軽に摘み取ることができ、いつしか夢中になってしまう地道さがあります。一見、黒豆のようです。。。 | |
| **「ＧＩＮＺＡ」**　7.19 Sun.  久しぶりに銀座の画廊にでむきました。不思議と、身がひきしまります。明らかでもなにもみえてこないもの、混沌としていてもみえてくるもの、すべては自分に大きくはねかえってきます。モナカアイスひとつの休息で一日画廊めぐりをしていた学生時代を思えば、リッチな休息をし、初めて購入した作品（先月）を手にし、足早に帰路につきました。 | | |
| **「missing pieces」**7.18 Sat.  さがしものをしていました。みつからなくて、自分の記憶をうたがって、あらゆるところを探しはじめ、何も手につかなくなり、やっとみつけました。やはり、そこだったのかという安堵とともに。さて、その間、ずいぶんと大切なことを置き去りにもしていました。ほんとうのさがしものの存在にも気付きました。このさがしものは、もっと時間をかけてさがしましょうか。。。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\shiawase1.jpg | **「happiness」**　6.30 Tue.  しあわせのかたちをさがしている  たまたま、今日みつけた四葉のクローバー４つ  つながったままのとうもろこしの粒、ほおばる | |
| **「I am HOUSE　-31-」**6.23 Tue.  住人が掘りたてのジャガイモをもってきてくれました。なにか作ってくれというのでカレーをつくることにしました。ほくほくしておいしかった。そういえば、今朝けんかしましたっけ？そうでした？おいしいものの前では皆笑顔です。 | | |
| **「last words 」**　6.14 Sun.  たまたま。画廊にて、ある人物が亡くなったことを知った。特別な知り合いというわけではないのだが、前回の個展の際、非常に厳しいことばをいただいたので記憶していた。不在だったため2度目の来場は個展終了間際のこと。なんとしてもわかっていないその作家にいっておきたいことがある、という次第。「そうなのでしょう、あなたには。」と静かな抵抗をしたことを少し恥じている。まぎれもない私の弱点で、このことはしっかと彼の遺言としてわたしの中に残ることとなった。 | | |
| **「meet again」**　6.14　Sun.  昨日、とても素敵な作品に出会いました。以前にもあった感覚ゆえ、自分のｎｏｔeを振り返ってみると、まさに3年半前の山本まり子展。。。大きな作品の発する世界はもちろんなのだが、小さな箱に入った作品もまた同じ威力をもっている。幸運にも、いつでもその箱のふたを開けることができることになった。。。 | | |
| **「light and shade 」**6.6 Sat.  朦朧としたあたまで、久々に視角のおどろきを実感した。光と影は同居している。影にも影があり、光にも影がある、、、その「かげ」こそが実（じつ）。 | |  |
|  | **「dive」**6.5 Fri.  またしても低迷している、、、金泥と緑青色のよさ気な画面があらわれてきた。格闘していたはずなのに、美しい色調に手がつけられずにいる。ちがうってことはわかっているのに、なさけない。。。 | |
| **「stoneware」**　　5.27 Wed.  うつわをつくるように描くことを意識するようになった。工芸性とか絵具を自然にまかせるというのではなく、あたまの中を。意図するより前の、それは、できたものにあるかないかの違いだけ。 | | |
| **「10　years　」**5.17　Sun,  最近、いきなり10才年を重ねました。こまかいことは気にしないために、というか気にするためか、10年単位。心構えがちがいますねえ、、、10年の重みを感じます。やらなきゃならないことが山積み！！！ | | |
| **「nothing else」**5.7 Thurs.  この連休は家でエヘン虫と格闘してすごしました。そんな中、すこし絵に向かうことができました。ここのところ、欲ばりになって「なにか（それ）」を描きあげようと思うあまり、見失っていたものを。「なにか（それ）」を描こうとすることがそもそも違うってこと。その中にはなにかを入れるのでなく、なにも入っていないのである。なにもないを描く、というのは描かないとも違う。ただひたすら描くしかないのである。そうかんたんな仕業ではないのである。 | | |
| **「　comback!　」** 5.2 Sat.  少し悩める日々、、、悩む余裕さえなくなる日々、、、そして、きづく。絵が描きたいなあ、描くよろこび。いろいろ考えることも必要なのだが、やはり欲求と衝動、それにつきる。 | | |
| **「nose trip」**　4.27 Mon.  はながつまっています。ふしぎとこの感覚がなつかしい。外界がシャットダウンされ、内なる記憶がよみがえる。なにがはっきりしているとはいいがたいのだが、あのときのあの感じと漠然ながら旅にでる。、 | | |
|  | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\yotuba.jpg | **「clover」**　4.16 Thurs.  ニラバナは、三角形がふたつ重なったような花。庭の一角にここぞと生えているのだが、ふとみると四葉ならぬ四花を発見！いいことあるかな。。。 |
| **「days」**4.13 Mon.  日々の時間はゆっくりと流れている。庭先の花が季節ごとに色づき蕾、咲き始める。野の花を摘み、のぞいてみたり、、、これが今のリアルなのかもしれないとも思うし、もっとしっかりほんとのところを見据えねばとも思う。針しごとの一目の有様が気になりだしたり、どうでもいいことがやたらと気になり、やらねばならないことを遠目からみている。これが日常というものなのだろうか。 | | |
| **「 a key　」** 4.5 Sun.  ふっきれる瞬間ってあると思う。理想を追って堅くなった頭に風が抜ける瞬間。だいたいにしてそのキーワードは驚きと笑いを含んでいる。そこから方向転換して、いつしかそれもふつうのことのように思えてくる。でも、その瞬間のきらめきは忘れないでいたい。 | |  |
|  | **「 encyclopedia 」**　4.2 Thurs.  名も無き花って、きっといっぱいあるんだろう。庭に生えている雑草に小さな2mm程の水色の花が咲いていた。よくある植物辞典には載っていないし、すっごく分厚い専門書あたりなら載っているのかもしれないけれど、そういうところとは無縁に咲いている、そんな花。最近、その花に出会う機会が多いので、とりあえず、「ｾｰﾇ」と呼んでいるだけ。 | |
| **「I am HOUSE　-30-」**　3.28 Sat.  　かなりの長い時間、住人と過ごしていました。その口癖が私のものだったのか、住人のものだったのかわからないほどに。毎日がサプライズの連続で、それもふつうのことのように。もうすぐ、私たちは別々の道を歩き始めます。私は中で活動をはじめ、住人の帰りをまつのでしょう。そして、外での出来事をたくさんたくさん教えてもらうのでしょう。。。 | | |
| **「back steps」**3.18 Wed. 　　　最近、裁縫をする機会が多いのであるが、糸をほどいて戻る時間のほうが長い気がする。先走ったイメージの誤算に悩んだり、自分の手の鈍さに満足いかなかったり、つくづく手と頭との距離を身にしみる時間なのである。まさしく、私の絵をのもの、、、、しかし、時間がかかっても満足いくものができたときの喜びは同じかも。。。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\daruma.jpg | **「 now, here 」** 3.9 Mon. 　今の自分を棚にあげて、先の自分をせかす時がある。そして、はてしないドツボにはまる、、、そんなとき、同志の「まずは、今できることをすればいいんじゃない？」の一言に救われる。今しかできないことがあるはず。。。理想が膨らむ前に、未熟な今の自分の一枚を愛そう。。。 | |
| **「snowman」**3.4 Wed.  思いのほか雪は積もらなかった。日陰の雪をかき集めてちいさな雪だるまひとつ。　20年ほど前、このタイトルのビデオを買った。当時はめずらしく絵本タッチの描画の動きに感動した。サイレントで音楽のみ。ほろ哀しい結末のごとく、数時間後には、水の痕跡しか残っていなかった。 | |
| **「a shock !」**　2.25 Wed.  あ、、、やられたあ、、、と思わせてくれる絵に出合うときがある。案内状を見た瞬間、軽いパンチをうけた。別に、同じ絵が描けるわけではないのだが、こういう攻め方があるのか、、、と目から鱗なのである。はてさて、それにひきづられることなく、わが道をすすまねば、、、、。 | | |
| **「 egg or chicken ?」** 　2.14 Sat.  はじめに、ことばがきたので、メモにしたためた。こんなかんじの絵ということで。めったにないことではあった。でも、やがてそのことばが絵を支配しはじめた。絵は窮屈そうに、また退屈そうに、そうじゃないよと主張しはじめた。タイトルをつけるときもそうだが、私の場合、できあがった絵になるべくよりそうようなことばを選んでいる。やはり、絵が先、これだけはいえる。でも、ことばに導かれた、、、ともいえるのかな？ | | |
|  | **「smile」**2.6 Sat.  いつのまにか眉間にしわがよった状態になる。いかん、いかん、、、こういうときは絵がまじめでかたい。楽しんでますか？と自分に問うてみる。うん、大丈夫。 | |
| **「10 years ago」**　2.1 Sun. 　　昨日の自分にひきづられないために、１０年前の作品から見直してみた。かなり、作品として客観視できる。　道標を失いそうになっていた矢先、もやもやがクリアになっていく。。。 | | |
| **「take off」**　1.26 Mon.  とこどきとてつもなく絵から離れたところへいってしまうことがある。このままではいかん、、、、と思いつづけて再び舞い戻る。コツコツ描きすすめていたものがまったく別人の絵にみえる。どうやら、この時をまっていた時間だったようである。あっさりととんでもないことを当たり前のようにできる。いい加減、自分の絵のすすめ方をわかってもいい頃だと思うのだが、そうもいかず、ないものねだりをする癖はなかなか抜けないのである。私の場合、その瞬間瞬間のあつまりであって、それ以前もその後もひきづるべきではないように思う。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\kaba.jpg  　　「かばのいる風景」 | **「human watching」**　1.25　Sun.  電車で人をみるのがけっこう好きである。久々の横浜線、休日は行楽ムードでいっぱいで、なんだかあたたかい。仕事で乗っていた頃は、平日の夕方はお疲れムードでいっぱいだった。。自分自身もその雰囲気づくりに一役かっているのだろう。 | |
| **「piano」** 1.18 Sun.  6年間習ったピアノ。風化してしまった頭と指とで感覚を呼び覚ます練習をはじめた。そして、何十年ぶりかのミシン。。。 | |
| **「I am HOUSE　-29-」**　1.9 Fri.  　お久しぶりです。　私も、最近では「家」という感覚さえ忘れるほどに家となりました。住人との仲は相変わらずで、よき友といった風です。「宇宙へいきたい」などと住人が言い出したので、宇宙飛行士にならなければならないよと教えてあげました。「宇宙飛行士になる！」と住人が言ったので、なんだか宇宙がそう遠いところでもないように思えました。 | | |
| **「end of year」**　12.31 Wed.  気になる作家がいる。とても地道で微妙で発表もあまりされていないようで、、、微妙な仕事は微妙な水面下で行わざるをえないのだろうか？と思っていた矢先、とても地味ではあるが小さな花火のような蒔絵の箱やじっとみつめていたいような青磁の壷を目にした。そのささやかさや地道な地味さは、弱さとはちがう。そこに在る確かさを、これから探っていきたいと思う。  もうすぐ、　　　**A HAPPY NEW YEAR 　2009　！** | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\ai.jpg | 「closing」2008.12.24　Wed.  スパゲッティ屋から藍画廊の入っているビルが見える。今日は最終日。すでにビルの窓は全開で上部には布もかかり、解体の準備にはいっているようだ。親しんで好んだ空間がなくなるのは少しさびしい。小さな絵ががんばってくれました。次はもっと大きな絵が描きたい。。。 | |
| **「　nazonazo 」**　12.21 Sun.  なぞなぞの答えをさがすように、絵を描いている。  眩しいようで曇ってて、立ってるようで浮いている、ばらばらのようで集まってて、、、、答えはみつからないのだけれど、結果その絵がこたえとなる。そのこたえが限りなく答えに近くないと、こたえにはならないわけで、最近はできる限り伝わるこたえをみつけたいと思っている。淡白さも必要なのだけれど、執念も要る。 | | |
| **「float 2008 」**　12.13 Sat. 　　　今回出品する作品のタイトルである。  結局、最初に気になっていたものにこだわり続け、何回かチャレンジしてやっとこぎつけた、といった感じである。小品はつくづく難しい。。。浮かんでいるようでしっかりと立っている、あるけどない、、、そんなものを描きたかった。  総勢193名の作家が出品されるそうです。是非ご高覧ください。どんな展示になるか楽しみです。 | | |
| **「foｒｇet me not」**　12.7 Sun.  やっと絵の描き方を思い出した。しょっちゅう忘れてしまうのである。数日前までできていたことがきれいさっぱりと。思い出すまで忘れていることさえ忘れてしまう、おそろしい。。。 | | |
|  | **「happy wedding」**　11.30 Sun.  何年かぶりに結婚式披露宴に出席した。幸せの笑顔はやっぱりいい。日常のイベントが落着いてきました、、、さてさて、作品は出来上がったのでしょうか？。。。ここまでか、、、もう一超え、、、なのだが、、、。できるものしか出来ないとはいえ。 | |
| **「そこはそもそもそういうところではない？」**  準備ＯＫ！の地点、まずはそこをうたがってみることである。くつがえしてみることである。昨日と同じである必要もなく、別人となってもかまわない覚悟。 | | |
| **「　nightmereｓ　」**　11.19 Wed.  最近よろしくない、よろしくない状況、、、をひしひしと感じて眠る夜。三大悪夢をみてしまった。。。いつもはひとつで現状況の危うさを理解するのだが、これはかなりやばし、、、危機感をもって望む翌日。やっとごっそりと余計なものをそぎ落としました。やっとスタートといったところです。 | | |
| **「　yellow gold 」**　11.16 Sun.  高尾山のいちょうが見事な黄金色にそまっていた。ほぼ一週間ごとにチェックをいれているのだが、驚いた！！ここのところ悩んでいる琥珀色に近づくヒントをいただいた。 | | |
| **「Ｉｌｌ　ｂｅ　ｂａｃｋ！」**　11.9 Sun.  またしても、不覚にも小さい風邪をひいてしまった！11月おそるべし、、、つかんだと思っていたものはすでに遠のき、もはや幻想を捨てるしかない状況。ステキな絵が絵具の間から自然にたち現れることはないっ。一歩一歩、一筆一筆描いていくしかないのである。。。よさ気な絵はさらば、さらば。 | | |
| **「Ｍｔ．ＴＡＫＡＯ」**11.3 Mon.  　ミシュラン効果か紅葉シーズンか、高尾山の人手はすごかった。 紅葉はまだまだ先といったところでしたが、ケーブルカーで上る景色は美しい。山の緑はいろんな色がある。 | | |
| **「appear」**　10.28 Tue.  自分のパレットの上にみなれない色が並ぶ、、恐怖。　ありえない、ありえない、、、でも、ここがぬけ道になりそうな予感。 | | |
| **「endless world」**　10.26 Sat.  昼から夜へ、そしてまた昼へ夜へ、と画面の明暗が展開していった。なにもないところから創りあげていく作業は、おわりない。こりゃ永遠に繰り返されるな、、、とわかるまでに数日。アクリル絵具の利点でもあり落とし穴でもある。やはり、ひとつもっていかないと絵は完成しない。 | | |
| **「I am　HOUSE　-28-」**  久しぶりに絵をみて感動しました。住人の絵が描いてない時間にも成長していることにも驚きますが、これははじめてみる形。私がのぞき見していると、「これは、花。」「ただ咲いているだけ。」　いさぎよい茎はまっすぐに横にのびたくさんの○とポヤポヤをつけています。絵は目でみることによって育つ。 | | |
|  | **「　9　」**　10.19 Sun. 　小さいのであるが、9枚描き始めた。これまでのわずかな絆をたよりにかきすすめていく、のをやめた。というより、消えた。もう、何もないところでただそのときどきの糸をつなぐ、それだけ。9枚9様。 | |
| **「 become strong 」** 10.12 Sun.  単純に絵を濃くしたいと思っている。でも、薄い淡いベールをかけることしかできない日々。淡い絵は重ねても重ねても淡い絵でありつづける。いつか濃くなると期待してか、、、？絵具を濃くすればいいのかな？絵具を濃くするということは、明確にする決断でもある、曖昧への決別でもある。あああ、絵がたってきた。やっとスタート地点である。。 | | |
| **「 on a cliff 」**10. 5 Sun.  久しぶりに銀座の画廊をまわりました。お天気の週末だけあって、たくさんの人に出会いました。いい刺激をうけました。そして、遅らばせながら、「ポニョ」を観て来ました。すっきりとした後味。アニメの領域を生かした美しい作品でした。そして、最近ふつふつとわいてきたエコ魂にこだわり飲みかけのジュースをポシェットのポケットに入れていたらケータイがりんごにつかってしまい百円のエコが・・・・万円の非エコを生んだ末の新しいケータイ。まだ使えません、、、目を使いまくった週末でした。 | | |
|  | **「colors」** 9.29 Sun.  「絵具」を買いにいってきました。 絵具選びがこんなにわくわくするものだったとは！？岩絵具をびくびくしながら買っていたこともありましたが、、、3号の小品にとりかかりはじめました。今年はこれで〆となるでしょう。ひとつ、いいのができるといいな、と。　年末の藍画廊移転前の最後の出品作になる予定です。 | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\mitogei.jpg | **「a frying　pan」** 9.23 Tue.  悩みに悩んだ末、ようやく念願のフライパンを購入することができた。炒めているときの感覚がかなり違う。安心感、すべりのよさ、、、料理は道具でかなり旨くなる。素材、道具はいいにこしたことはないが、料理の味をきめるのは、あくまでも腕と感。料理とスポーツと絵はかなり近しい。。。 | |
| **「train friendship」**　9.18 Thurs.  実家へ帰ったときのこと、列車に乗る機会が多々あった。足の太い女子高生もおしゃれをしたおばさん軍団も疲れたサラリーマンも、なぜだかみんな愛おしいのである。東京の車内とは、どこか違うのである。他人の感覚ではなく、なぜか感情移入できる、遠からぬ親戚のような、、、なんだろう、これは？ | | |
| **「another start！」** 9.6 Sat.  明日、また海へ帰ります。水戸での個展ももうすぐ終了です。そして、またあらたな始まりです。この繰り返しです。課題がいっぱいです。へこんだ分だけ吸収します。 | | |
|  | **「I am　HOUSE　-27-」**　9.5 fri.  住人がことのほかはまっている「アンパンマン」とやら、人も動物もパンも丼も文房具も、この世のすべてが等身大で、理屈なんて関係ない世界。そのまま受け入れるすんだ瞳たち。私もそうありたい、実際おもしろいんだもの。 | |
| **「after　big thunders」** 8.28 Thurs.  個展がはじまった。遠方ゆえあまり会場には居られません。まさしくこの感覚は、分身の術。どちらかというと、私が影。想いをはせるのもいいが、その必要も時間もないのだろう。お互いしっかり、仕事しましょう。。。 | | |
| **「week　end.」**8.17 Sun.  なんとか１０枚、今回の個展に出す作品が仕上がった。出来上がると遠いところへいってしまう感覚になる。もはや、手の施しようもない。 | | |
| **「no time 」**　8.13 Wed. 　このお盆休みは、年末の休みみたいなかんじがする。もはや、カウントダウンにさしかかっている状況。できることは少ない。でも、そのためのストロークは相当必要にちがいない。時間の断片をひろいあつめている。 | | |
| **「no long」**　8.6　Wed.  雷とはげしい雨、そして晴れるといった展開。自然ほど潔く劇的にはいかないものである。 | | |
| **「sleepy eyes」**7.27 Sun.  もうねむねむで頭がさえないそんなとき、一筆だけやっとこぐらいのきもちで、いざ！これがけっこういいんだな。こつこつ慎重につみかさねてしまったところを一掃！とても頭がさえていたらおそろしくてこんなことできない。そして、ぱたっと眠りにおちるのだ。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\pool.jpg | **「rainbow」**7.22 Tue.  虹のつくり方。ホースで霧状の水を空へうちあげた。虹が下のほうにうっすらとみえてきた。見て見て！と角度をかえると消えるし、他の目線からはみえないようで、噴霧をしつづけないとそのうっすらさえも消えてしまう。暑い最中、必至になにをやっているのだろうとも思うのだけれど、見えたときがうれしい。。。 | |
| **「water land」**　7.13　Sun.  久しぶりに横浜へいきました。遊んで食べて遊んで食べて遊んで食べて、、、、、不思議とおなかの辺りがキュッとして開放される感覚になるのは、水辺の地ゆえか？いろんな意味で真ん中領域にある街なのである。 | |
| **「　human touch 」**7.7 Mon.  なんとかつかまえようと、やっきになっていたように思う。なんとなくをしっかりとに変え、明確に示すことを。　なんとなくをそのままもってくる。つかまえることも逃がすこともせず、ただ掌をにぎりしめてみる。意外とそのぬくもりの中にいたりするものだ。 | | |
| **「 face 」**　7.3Thurs.  出会ってしまった。　いつも押していた信号ボタンがある日、かおにみえたら、もう顔にしかみえない。。。 | | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\kao.jpg |
| **「　pudding 」**　7.1 Tue.  夕方、プリンがとっても食べたくなって２０分歩いて最寄りのスーパーへ買いに行った。ほしいものを手にいれるということは、それなりの苦労が必要なのである、とあらためて思う。　絵の場合は、ほよっとできてしまうこともあるが、苦労してもできないときはできないし、でも、できないことの積み重ねがその瞬間を生むわけで、やっぱり苦労はつきものなのだろう。。。　結局は、おいしいプリンがたべたいだけなのである。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\hart.jpg | **「every day time 」**6.21 Sat.  日常時間にふいに訪れる「こと」。私の日常時間は幸い？何事もないかのように流れているが、個展間際の作家、震源地付近在住の作家、限られた日常を認識している人は強い。 | |
| **「I am　HOUSE　-26-」** 6.15 Sun.  　つい先日まで水色一辺倒だった住人が、ある日突然、ピンクに心を移しました。何がきっかけになったのか、、、すべてがピンク。。青の時代は小さな過去として、これから又いろいろな色に出会うのでしょう。 | |
| **「in front」** 　6.14 Sat.  真正面から向かう覚悟をもつかどうかで、いきなり絵が激変する。わかってることなのに、回りをぐるぐる、、、やっと正面玄関がみつかりました。 | | |
|  | **「no rule」** 　6.3 Tue.  方法論でないことはわかっている。 なかみ、なんだ。なかみ。。。 | |
| **「my challenge」**6.1　Sun.  しばらくぶりに、筆で描こうと思う。白も使おうと思う。いろんな色も使ってみようと思う。。。なんだか、絵を描く上であたりまえのことをできないでいたことに気づく。でも、思うとやるのでは、またまたちがってくるんだな。 | | |
|  | **「white %」**5.25 Sun.  今まで自分で禁じていたことをあえてやってみることにした。「白」もつかいようである。意識のつかいようである。まだまだやれそう、楽しくなってきた。 | |
| **「I am　HOUSE　-25-」　」**　5.17　Sat.  住人が新しい住まいに招待してくれました。その名も「closet room」、うわさには聞いておりますが、その狭さ、暗がり、お布団のやわらかさといい、なんとも魅力的。しかし、私の大きな体がはいるかどうか。。。 | |  |
| **「quiet, soft」** 5.11 Sun.  蛙がなく日は、よく眠れる。しとしと雨とぽたぽた雨だれ 。。。この湿気感は日本独特のものなのかな？いいドラマは途中からみてもはまる。なぜか泣けてくる。迷惑メールの多さにあ然とする毎日。ひとつだけ私宛のメールに出会って救われた気持ちになる。そういうことの積み重ねなんだと思う。 | | |
| **「chair」**　5.5 Mon.  　砂にうずもれるベンチ。  砂浜のかたちもかわっていく。 | | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\isu.jpg |
| **「snake 」**　4.29 Tue.  GWは動物園へいくでしょう。。。そういえば、ふれあい広場でへびに触ったことを思い出しました。イメージ的には、冷たい硬い感じでしたが、意外にもあたたかかった。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\fuji.jpg | **「I am　HOUSE　-24-」**　4.26 Sat.  何年ぶりでしょう、しゃぼん玉をみるのは？住人がおそるおそるストローを吹いて、、、なんとはじめてらしいのです。「しゃぼん玉はどこへいくんでしょう？」という問いにわたしが応えるまでもなく、「きっと帰っていくんですね。」ともっともな答えを添えました。七色にひかって風にとんでいく景色はうつくしい、超高速でわたしの上を越えて。 | |
| **「someone」**　4.20 Sun.  煮詰まって、描けなかった絵をひさびさにみる。まだ何もないので、ああ、私だったらこうするのに、、などと思ったりする。ふと記憶がよみがえり、あの時はこうでなきゃ！とひたすら一方通行だったことに気付く。さなかに居ても、誰かの目になれたらいいのにね。 | | |
|  | **「thinking」**　4.15　Tue.　具体的なかたちにしていきたいなあ、、、と漠然と思うこの頃。かたちがあっても中身は描けるはずで、中身が描ければどんなかたちでもいいのかもしれないと。でも、はたしてなんのかたちをかりればよいのだろう？花、山、人、、、どれもいまひとつちがうのである。 | |
| **「mystery」**4.12 Sun. 　　なぜか、布団のうえにどんぐりがひとつ。 この季節にどんぐりでもないだろうに、、、と思いつつ少しだけ幸せな気分になる。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\kage.jpg | **「shadows」**4.1 Tue.  あたりまえのことなのだが、花にもひとつひとつ影があって、風が吹くたびにその小さな影もひらひらとゆれるのである。 | |
| **「I am　HOUSE　-23-」**　3.28 Fri.  私も最近あちこちが要メンテナスといえます。そんなとき、大っきくなった住人が屋根上に腰をおろしてきたりするのですから、たいへんです。　でも、虫から私をかばってくれたり、さすってくれたり、とてもたよりになるのです。「もう知らない！」そういえば、そのセリフどこかできいたことあるような、、、 | |
| **「seed」**　3.23 Sun.  種をまく、せっせと水をかけつづけて、耕していきたいと思う。どこかで知らないうちに芽がでていつか出会う日がくるかもしれない。そんな小さな喜びなんだと思う。 |  |  |
| **「to be continued」** 3.16 Sun.  どうすれば作品がもっとよくなるのか、と考える。日々描くしかないのかな、、個展をすると、ここまでだ！という瀬戸際からもう少しだけ行けるかもしれないというつづきをいただく。やっぱり描きたい。 | |
| **「another room」**　3.9 Sun  明日から、個展がはじまります。今回はあまり会場にいることができないので、ずいぶんとがんばったつもりでしたが、できることしかできないというか、できることだけができたというか、いい意味でちからがぬけてると思います。個展一週間前にやったしごとは力がはいりすぎて、すべて最終専攻からはずれることになりましたが、、、明日は雨？もうひとつの部屋へ足を運ぶつもりです。ご高覧よろしくおねがいいたします。 | | |
| **「control」**　3.1 Sat.  ここのところ、夢中になったＴＶの卓球の平野早矢香選手に学ぶ。　いま、ここでのこころのもちようがものをいう。 | | |
|  | **「sometimes」**　2.26 Tue.  　　ときどき、雨にのって電車の音がきこえてくる。こんな遠いのに、、、 | |
| **「I am HOUSE -22-」** 2.19 Tue.  思いがけず、住人が私の絵を描いてくれました。　緑色のやねとまるい青い窓がふたつ、それらは微妙に違う青色で描かれていました。やねのカーブは大胆な直線がはしっています。まさしく、私なのでしょう、、、  負けてはいられません。 | | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\ume1.jpg　百草園にて |
|  | **「snowmen」**　2.11 Mon.  昨日つくった雪だるまは、白。その前は、チョコマーブル。まっ白につくるのってけっこう難しい。 |  |
| **「as you like it ②」**　2.2 Sat.  　今年も小さな梅の木がつぼみをつけました。 見たところ、あざやかな紅梅のつぼみ。「思うがまま」という品種のネームプレートをみるたびに、今年も紅！なんですね、、、と自分にいいきかせる。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\yuki.jpg | **「I am HOUSE -21-」** 1.27 Sun.  ただ建っていると、うまくやりぬくためのいろいろなことを考えます。遠くまで旅をしてほとほと疲れます。ああ、健康でさえいればそれでいい。そんなことにやっと気付くのです。　 私は、元気です。 | |
| **「hide and seek」** 1.23 Wed.  案の定、作品が写真に写っていない、、、この事実を受け止めるのにしばし時間が要った。落胆することでもなく開き直ることでもなく、そのままの事実として受け入れるために。 | |
| **「post card」**　2008.1.20 Sun.　　　やっと最近、ある覚悟ができた。１０ある中で自分は１、もしくは２くらいでよい。あとは自分以外のなにかに耳をすますだけ。 | | |
|  | 2008.1.2 Wed. **Ａ　Ｈａｐｐｙ　Ｎｅｗ　Ｙｅａｒ！**  ごちゃごちゃとした年末をどうにかやり過ごし、いわば覚悟の領域。なんとかしてやるぞ！という前向きな姿勢も大切なのであるが、どうにもならないという状況を受け入れた中でわずかながら何ができるのかと考えることも確かな一歩のようにも思う。情熱ばかりでは空回り、冷静な眼はべつのところにある。 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **「a map」**　2007.12.25 Mon.  　vision というとカッコよすぎるし、plan というと知的すぎる気がする。描き始めるときの必需品は、消えかけた地図のようなもので、あるとないのとでは大違いなのである。 | | |
| **「a print 」**12.16 Sun  ケシゴム版画に挑戦！いろいろアイディアはあったのですが、小学生の版画そこそこの出来栄えに笑ってしまった。思っているより出来る事は、ほんと少ない。多少の技術と明確なプランをもって挑み、微調整に微調整を加え、余計なものを削っていくほかない。版画は絵画より如実にそのことを気付かせてくれる。学ぶべき点が多い。さて、、、 | | |
| **「understand」**　12.11 Tue.  きまらない、  きまりない、  きまれない、、、  でも、そう落胆することもない。 | **「sweet pain」** 12.2　Sun.　今日ははじめて大学いもをつくった。イメージどうりの出来栄えに満足。 はじめてあんぱんまんの絵を描く、となるとイメージとややづれてくる。お手本のないものを創る、となるとさらに厄介で、ずれているものをつくってほんものを探すような反対のかくれんぼみたいなことになる。 | |
| **「no problem」**　11.29 Thurs.  髪を切って風邪をひいてしまいました。。。不覚。　11月によわい、気がつけば、そこに12月の壁。そろそろ走りださねば！ | | |
| **「I am HOUSE⑳」**11.19 Mon.  言葉がひらく瞬間をみました。住人が「Open sesame！」といったとたん、言葉の間からぽろぽろとゴマがこぼれてきました。 |  | |
| **「yellow brown」** 11.19 Mon. 　　庭の柿の木もすっかり葉が落ち、赤い実がポツポツとぶらさがっている。あとはどうぞ、と鳥にいう。 | |
| **「END」**　11.11 Sun. 　　酉の市。お飾り、七味唐辛子、お好み焼き、わたあめ、チョコバナナ、、、、小さい頃の年の暮れのイメージがよみがえる。おいしい。 | | |
| **「horizen get in my eyes」**　　　　水平線が目尻にしみる。空がまあるくみえた。 | | |
| **「sea cleaning 」** 11.1 Thurs.  山は癒し、海は浄化の作用があるという話。どうやら、最近ずいぶん癒されてしまったようだ。明日、海へいく。きれいさっぱり洗い流してこよう。あそこは、荒浄化するにはもってこいの場所である。 | | |
|  | **「cats and dogs」** 10.28 Sun.  昨日の雨はすごかった。家にとじこもったぶん、外に出たい。最近、猫や犬の知り合いもふえた。散歩の途中、チャーリー、こたちゃん、かおるちゃん、顔なじみである。剣玉を散歩している人もあり！？ | |
| **「 little by little 」**　10.22　Mon. 　　描きこむということを勘違いしていた。色がたくさんのることでもなく、時間をかけすぎることでもなく、繊細すぎてもいけないし、かといってその反対でもない。 | | |
| **「no name 」**　10.22 Mon.  気晴らしに小さい絵をこちょこちょと描いてみた。「椅子」と名づけた、とたんに、作品が離れていった。イスらしきものは描けたが、自分の描きたいものはイスじゃないよなあ、、、なまえはまだない、そう簡単にかたづけてはいけないんだな。 |  | |
| **「gap」**10.12 Fri.  ひとつだけ、持っていく。ほかのことは、その場で起こっていく。自分自身おどろくこともあるが、納得する地点が必ずある。 | |
| **「missing」**　10.8 Mon. 　ときどき絵の中で迷子になる。そのときは、きづかないが、後で我ながら、驚いたりする。道を悩んで選んで、どこか余裕で。そんな余裕で絵が描けたためしはない。これしかないってもんをひたすらに追って、なんとか近づけるといった道しかない。明確すぎてもいけないし、手ぶらでもいけない。 | |
| **「I am HOUSE⑲」**　9.30 Sun.  住人が私の住人であったことは、なんだか遠い話のような気がします。住人のことを住人と呼ぶことさえ不自然なことかもしれません。明日、住人にあったら、なんと呼びかけましょう？そもそも、住人だなんて呼んだことはなかったでしょうに。離れたようでより近くに感じるのは不思議です。。。 | |  |
| **「rabylinth」**9.27　Thurs.　　最近思うのは、絵の方向がかなりメンタルな部分に左右されやすいということ。ほっこりとふっきれるときと、劇的にさまよいつづけるときもある。日常からすっとはいれるときと、重すぎてぶつかるとき。同じ入口はふたつとない。 | | |
| **「I am HOUSE⑱」**9.23 Sat.  色には、なまえがあると住人におそわりました。色についてわかっていたようで、私の中で起こるある種の便利なことばになるまえのなにかであった、ということに気付きました。「きいろ」といったとたん、黄色い色が鮮やかに主張しはじめました。「あか」「あお」、まだまだたくさんの色と出会うには、とても時間がかかりそうです。 | | |
|  | **「on the dish」**　9.17 Mon. 　紙皿を購入。紙パレットでは、さらさらと流れてしまい、絵皿ではどうも硬過ぎてしっくりこない。ちょっとピクニック気分になれるのもよい。　さあ、さっそく描いてみよう！ | |
|  |  | **「time　slip」**　9.8 Sat.  久々の銀座を歩く。軒並みビルが消えていたり、ここらへんにあったらいいなと思ってたところにＭｃが出現したり、驚くことばかり、、数件画廊をまわって、少しだけ眼がよくなった。アトリエの景色もかわってきたぞ。 |
| **「floating」**9.1 Sat.  久しぶりにどうにもならなさを味わった。意気込みとはうらはらのどうしようもなさ、に耐えながらしばらくふんばってみることにする。どうも絵を完成することをいそぎする傾向がある。ゆっくりと深くもぐって、ぷかぷかと漂ってみよう。。。 | | |
| **「I am HOUSE⑰」** 8.27 Sun. 　　　住人のあたまになにやらくっついていたので、教えてあげました。 ところが、それは出かける時の装飾品らしいのです。なんだか女の子みたいで可笑しい、、といったら怒られそうなので黙っておきましょう。かくなる私も家でありながら、カーテンをかえたり、あちこちペイントしてみたり、、、可笑しな話です。 | | |
| **「rain」**　8.16　Thurs.  遠くの雷がちかづいてきた、からからの土と空気にうるおいを、、、と、うたたねしながら念じていた。小一時間の大雨。夕方、涼しい風が私を外へ誘い出した。 | **「APOLLO」**　8.21 Tue.  どうして今まで気付かなかったのだろう？　アポロチョコレートの形ってかわいいけどなんでこの形なんだろう、とずっと愛食してきた。その名前を考えればわかったはずなのに。きのう、はじめて気付いた小さなチョコレートに秘められた大きな宇宙の夢。すばらしい、、、 | |
|  | **「HOUSE」**8.14 Tue.  海へいくと、視角が開放された感覚。絵が微妙に変わる。山へもどってきた、いい意味で籠もれる。反対のベクトルがひとつになる。 | |
| **「summer vacation」**　8.2 Thurs. 　　明日から海へ行きます。 100号の白いキャンバスが2枚あったな、、、格闘してきます。我家からみえる花火は、間延びしたインターバルがよいのです。ゲタの音、波の音、、久しぶりの夏に出会えそうです。 | | |
| **「 be brave !」**　7 29 Sun.  あやうく、完成しかかった。というか、たまたま出来た。でも、ちょっとびくびくしつつが味を弱くする。。。一本の線を引く勇気をつねにもっていたい。勇気をもってあやうくいきたいのである。 | | |
|  | **「thinner pocky」** 7.23 Mon. 　　最近、「極細ポッキー」にはまっている。軽やかな触感。細いものをより細くするという心意気も気に入っている。 | |
| **「I am HOUSE⑰」** 7.19 Thurs.  「アフ」という名のバスと「シャー」という名の列車がここの所、住人の仲良しのようです。私のことはなんと呼んでいるか、ですかって？それは、秘密です。。。 |  | |
| **「making 」**　7.16　Mon.  久しぶりに胡粉を練った感覚、で白玉をつくった。胡粉はたべられないけど、白玉は食べられるからいい。 | |
| **「before」**　7.15 Sun.　　　ふみとどまるのも大事だけど、ふみこむことも大切だ。 | | |
| **「 frame」**　7.8 Sun.  このささやかなテラスが、あふれんばかりの緑をさらに強調しているようにみえるのだ。ここちよい。 | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\teras.jpg |  |
| **「all or nothing 」**　7. 1 Sun.　　　近づいている。でも、何か足りない、、、多すぎるのか少ないのか、それとも強いのか弱いのか、とかいろいろ考えるけれど、たぶんそんなこと関係ないところ。できるときにはすべてがうまくいく。失うときをおそれずに。。。 | | |
|  | **「powerless....」**　6.25 Mon  絵画の湖にどっぷりつかって、必至に泳いで向こう岸にたどり着きたい、という欲求が時折かおをだす。いかんいかん、といかに希薄に透り過ぎるかなのだ、といいきかせる。そう、版画のように潔く、彫刻のように大胆に、物語のようにあっさりと、絵画はシンプルな世界であるべきだ。 | |
|  | **「I am HOUSE ⑰」** 6.24 Sun. 　最近、小さなお友達が何人かできました。朝、私の前を通学していきます。あいさつやちょっとした世間話をするというのもまた楽しい。住人もとことこと、ガッコウという所にいってみたらしいのです。ガッコウには沢山の住人がすんでいるんだそうな。たいへんそ。。。 | |
| **「alcali ?」**　6.23　Sat.  　あじさいの花。　うちのは青、となりはピンク。土の成分によって色がきまるという話。挿し木しても、ピンクは青になっちゃうよって。ところが、ちょっと離れたところにピンクや青、白が密集して咲いているのを発見!?　ここの土はどうなってるのだろうか。 | | |
|  | **「green tea 」**　6.15 Fri.  いろんな、緑をこころみたが、どうも緑茶のみどりがいいようである。山の緑はみどりのちゃいろになる。。。といったところだろうか。 | |
| **「stranger」**　6.10 Sun. 　　海のもの、山のものになってみる。夏には、また海にかえろう。。。 | | |
|  | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\midori.jpg | ひょうたん池、みどりになる。。。 |
| **「green」**6.2 Sat.　　　銀座の画廊にて、横須賀氏の展覧会をみる。いままでにない色とさっぱり感が妙になじんだ。実は、最近私も緑が気になっているのであるが、緑といってもいろいろだな、、、とも思う。なじむ緑もいいが、反撥する緑もすてがたい。みどり、おそるべし。 | | |
| **「sleeping time」**　5.30 Wed.  睡眠が必要なのは、身体だけではないようである。  つづきが早く見たくて描いてみた。つづきをかいたら、また、つづく・・・という文字がみえてきた。そう簡単に近道はみつかるもんじゃないみたい。 | |  |
|  | **「I am HOUSE ⑯」**　5.28 Mon.  時々、私は目撃者になる。ただもくもくと建っているのですが、事件（？）は、ふいに私の目の前で起こる。家でよかったと思う瞬間です。今日はひさびさに遠くの方まで見えました。 | |
| **「last melon」**　5.21 Mon. 　　ここだけの話、まず、メロンをひとつたいらげました。　それから数日毎日、食後の三日月メロンをたしなみ、とうとう今日でおしまい。 | |  |
| **「be quiet !」**　5.11 Sat.  筆が饒舌な日はキケン。 | **「more than zero」**5.17 Thurs. 　　劇的な進化をどこかで期待している。  可もなく不可もないこの一手。 変り映えしないようだが、それが確実な進歩なのだと思う。 | |
|  | **「flavour of flesh！」**　5.9Wed.  新茶の季節である。新緑、新芽、新そのものの味、染み込む。 |  |
| **「GOLDEN」**　　5.6 Sun.　　　G.W. 中に誕生日を迎えました。休みがあけると、多少違った自分になった気がする。さてさて、休みぼけしてる場合ではない。このいろいろを自分なりに消化してかたちにしていかねば。。。昨日買ったサイフも、街で会った子供も、上野でみた素敵な作品も、すべてのみこんで。 | | |
| **「I am HOUSE ⑮」**　4.26 Thurs.　　　エア・ギターならぬエア・ペイントとやらに住人が熱中しております。途中まで描かれたキャンバスにこつこつと筆をいれていくのです。毎日毎日つづけることに意義があるらしいのですが、不思議。毎日見つづけるうちになにかが見えてきましたよ。もはや、それは最初の作者の作品ではなく、エアーな住人の作品なのかもしれません。 | | |
|  | **「NAGOYA style」**4.24 Tue.  鮭を一匹いただいた。名古屋式に骨のまま輪切りにした。いつも目にしている半身の切り身とはだいぶ雰囲気が変わる。おなじみのマンモスの切り身も名古屋式？ | |
| **「spring mountain」**4.19 Thurs.  暁け方、朦朧としながら窓の外に目をやると、山が目近に迫ってきた。春の山は、人々が眠っている間ももくもくと活動しているのである。若草色のもこもこはすぐそこにある。山のことはよく知らないが、、、、なんだかこの感覚は知っている。 | | |
| **「square」**4.15 Sun. 　久しぶりに正方形のキャンバスに向かう。。。このキュッとした感覚がたまらない。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\cisya.jpg | **「Alice」**　4.6 Fri.  ちしゃ猫を発見しました、『不思議の国のアリス』にでてくる。 これだけの体をこの細いフェンスに乗せる意味がわからないけど、納得。迫力満点！ | **「a cup」**　4.10 Tue.  いざ！と意気込んである作家のカップを購入しようとしましたが、ちょっとの差で逃してしまいました。ああ、くやしい。。。あまりにもくやしいので、そこにみたものを絵にしてみようかとおもいます。やっぱり、しばらくはコップでなくてはだめみたいです。 |
| **「no answer」**　3.25 Sun.  答えはありません。ということをついつい忘れて探してしまうのですが、このことに気付くと意外と気楽になります。 | **「under the tree」**4.1 Sun. 　　さくらが見事な一日でした。桜の下は、人々でにぎわっていましたが、桜を真横にみるスーパーの屋上駐車場は、すいていました。お花見には桜を見上げるというシチュエーションも大切なようです。 | |
|  | **「at a loss」** 3.21 Wed. 　　低迷している。　あと少しで出来上がりそうなのに、その回りをぐるぐる、、、 あと少しと思うこと事態が邪魔するんだろう。もっとはてしなく遠いはず。 | |
| **「island ?」** 　3.14 Wed.　　　先日、ふとある絵本のことを思い出した。野見山氏の「うごくしま」だったか「しまがうごく」だったか、、、某画廊にて買い求めた。「しま」であった。うごいていたのは、私のほう。そういう絵本なのである。 | | |
| **「I am HOUSE ⑭」**　3.11 Sun.  He is TREE.. 私の隣人です。彼もただまっ直ぐに立っているだけのように見えますが、雨や風のつよい日には、しのいでくれます。夏の暑い日には木陰でアイスコーヒーなど最高でしょう。最近では、住人がよく登って遊んでいます。ちょっと痛そう、でも楽しそう。。。 | | |
|  | **「as you like it」**　3.8 Thur.  「思うがまま」という名の梅がある。紅や白、マーブルの花が一本の木に咲きほこる。しかし、私が買ったその小梅の、咲いた花はぜんぶ紅だった。彼女は、自由にただ紅を咲かせたかったのか。。。 | |
| **「fairy floss」**3. 6 Tue.  わたあめを食べると幸せな気持ちになる、心もかるくなる。 | | |
| **「missing piece 」**3.1 Thurs. 　　人それぞれ、ひとつの絵の中に見ているものは違うのだろう。時として、自分が描こうとしているものよりも美しいものをみてくれていると、ふくざつな気持ちである。 私もそれをみてみたい、でも、こちらへ行かねばならぬ＾と。 | | |
| **「reality　」**　2.28 Wed.  ジジツノカクシン。　　この確信ということが、事実であるかどうかということよりも大切なのである。 | |  |
|  | **「　no problem　」**　2.24. Sat.  大事なことを、ときどき忘れているくせに、時々思い出してあせったり、さみしがったりする。頭の中は調子よくできている。 | |
| **「I am HOUSE　⑬」** 2.18 Sun.  ことばには重さがあるらしいのです。「あ」は0.00000001ｇとか「き」は0.0000000002gとか定かではないのですが。まして、「きょ」とか「じゅ」などは重い方。住人が、遠いところからえっちらおっちら運んできてくれました。私は、「おいしい」と「会いたい」をもらいました。家になってしまうと、その重さを忘れてしまいがち。大切にしまっておきましょう。。。 | | |
| **「a little」** 2.16 Fri. 　　しばらく手を入れてなかった絵を前にしてしりごみしていたように思う。描ける時を待っていたのだが、どうも来ないようなので、まず、ちょっと、手をいれてみた。ん、動き出したことは確か。どこに行き着くかはわからないが、乗ってみよう。。。 | | |
|  | **「long vacation」**2.13 Tue.  久しぶりに、ゆっくりと海をみながら過ごした。　楽園から出て、はじめて気付くことは多い。というより、外からしか見ることができないのが楽園なのかもしれない。それを考えていたら、今、大切なものは・・・と。とりあえず、パソコンの中の写真データを保存してみた。 | |
| **「white」**1.30 Tue. 　　これまで「白」をつかうことをさけてきた。ミルクティーのように透明感がなくなる気がしていた。それがそれが、このミルクがけっこうすぐれものである。水性インクの特性は上から白をぬっても封じこめられないところである。下から淡い色彩が顔を出す。 |  | **「ｅｙｅ　training」**　1.29 Mon.  またまた麦茶で絵を描いています。今回は、ワークショップにむけてはじめたのですが、すっかり絵の具の便利さになれてしまった私にとって目から鱗でした。たまに、麦茶で描くと目の訓練ができていいみたい。 |
|  |
| **「time goes by｣**1.18 Thurs. 　　久しぶりに銀座の画廊 を何件か回りました。なんだか、自分との時差のようなものを感じ、、、若宮綾子展（藍画廊）にてほっと一息。ピンと澄んだ空間がたまらない。日々の石鹸を石膏で型とったものを積み上げ天井から糸で中心を通している、作品。この展示もとても大胆ですてきだ。まるで時間を濃縮させたかのようなひとコマがそこにはあった。 | | |
| **「open secret」**1.16 Tue.  最近、「寿限無・・・」が言えるようになりました。ただ、それだけ。 |  | |
| **「image」** 1.14 Sun.  めざしている地点は、かなりおぼろ気であった。それを確かめるためにはじめたといってもいい。しろい画面に色がのっていくにつれ、おぼろなものが現実の色にひきづられはじめる。みすえながらもおぼろなものを追いつづけるのは至難のわざである。 | |
| **「horizon」** 1.7 Sun.  高尾山に登った。頂上から新宿、横浜の街も見えるほど見晴らしがよかった。地平線がまるいってこともよくわかった。　正月、帰省した。窓から海がみえる。初日の出は見逃したが、朝焼けが美しかった。水平線はいつもまあるかった。 | | |
| **「New Year」** 1.1　.2007 Mon. 　　**あけましておめでとうございます。**  新しい年、あたらしい服、あたらしい明日、あたらしい今、すべてが新しい。。。あたらしいわたし、わたしらしいわたし。 | | |
|  | **「I am HOUSE⑫」** 2006.12.29 Fri.  探しものってなかなかみつからないものでしょう？住人がここへ来る途中、靴を片方おとしてきてしまったらしいのです。先日も頭の上に小鳥のついた帽子をどこかへ忘れてしまったらしいですし、、、そんな時、バスが、「これをお探しでは？」と片方の靴を運んできた。こんなこともあるんですね。通りすぎるものとめぐり会うもの。私もどこかでおとしもの、してみたいな。 | |
| **「Christmas cake」** 12.24 Sun.  　　予約したケーキを取りにいった。「ご注文はこちらでよろしいですね？」と箱から出してみせてくれた。思わずうっとり、自信あるならではのパフォーマンスですね。寒い中、声を出して山のケーキを売る方もある。 | | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\gorila.jpgかみね動物園 |
| **「　at　zoo 」**　12.19 Tue.  ゴリラ が座っていた、今日は昨日より冷える。おもむろに立ち上がって、 彼（彼女）は、ござをぱたぱたと広げその上に座った。 | |
| **「days」**　12.12 Tue.  今、私とはなれた所で、絵が生きている。　不思議、これは絵をかいていることの魅力のひとつである。どんな人々と出会い、どんな一日をすごしたのだろう。。。世界は広がっていく、感覚。明日の私の一日は無縁のようで、つながっている。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\umi.jpg | **「a cup of　・・・」**　12.3 Sun.  毎日のコップ、明日はまたちがうものがみえるでしょう。。。明日は、久々に海をみます。日立での展覧会の準備もあります。おいしいお魚をいっぱい食べます。 | |
| **「cantabile」** 11.30 Fri.  　頭の中で音楽が流れているとき。そのような状態で絵が描けると錯覚してしまう。案外、ふつうに、もやもやと、ちょっと描いてみよう、ぐらいの方がいいみたい。それにしても、あたまの中がオモクルシイ。。。なかなか思うようにはいかない。できるものができていくだけ。それでいいのだ。 | |
| **「I am HOUSE ⑪」** 　11.23 Thur.  水玉のできるやまい、とやらに住人がかかってしまいました。私の想像よりかわいい赤い水玉でした。私が水玉HOUSEになったら、どんなでしょうか、、、どきどきしつつ覚悟しておりましたが、水玉は去っていってしまったようです。 | | |
| **「Mr.Winter」** 11.17 Fri.  今日は、冬がやってきたことを実感。いそがなければ、と思いつつ踏みとどまる毎日。。。 | **「virus」** 11.11 Sat.  健康ってすばらしい。ウイルス系の風邪にやられ、やっと復帰。一週間分のあれもこれもを数日のうちにこなす勢い。日常のお弁当箱はぎっしり詰め込んでやるぞ！ | |
| **「 lunch box」**　11.2 Thur.  お弁当箱にいろいろおかずをつめたい心境。あれもこれも詰め込んで彩り豊かに見栄えよく。でも、意外になーんにも詰め込めないのが絵。おいてけぼりくらったみたいに。これって、出来たってこと？ | | |
| **「ｍｏｂｉle]** 　10.24 Tue　くもの糸の丈夫さに驚く。　枝といってもかなりの大きさである。  （↓糸が二ヶ所についていてモビールのよう、） | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\eda.jpg | **「ｍｅｍｏｒｙ 」**10.20 Fri.  夕寝の途中、夢をみた。ことを思い出した。あるシーンだけ残像のよう。湖らしき背景、振り向きざま斜め、ああ、美しいと思った感覚だけ。このままにしておこうかな。 | |
| **「water」**　10.13　Fri.  　青、グレー、水それぞれ一滴づつパレットにたらす。水もひとつの色として主張している。 | |
| **「I am HOUSE ⑩」**10.10 Tue.  　空が青くて高い、こんな日はどこかへ行きたいと思うものです。住人がこれから秋の集いへ行くといって通りすぎました。さてさて、気になる、気になる、木になる。。。秋の集いとはどんなものぞや、住人は何をするぞや。。。私が家でなかったら、そっと木陰でのぞいてみたい。ああ、はずかしい、、家でよかった。 | | |
| **「cup」** 10.8　Sun.  コップの絵を描いているので、という理由をつけて陶器を注文した。ガラスではない、よーくみえるやつ。ふふふ、届くのが楽しみ。。。 | | |
|  | **「moon」**　Sat. 10.7  　昨日が仲秋の名月だったらしいのだが雨、今日の月はみごとだった。昼間のように雲がくっきりとみえた。こんなに明るいんだ。 | |
| **「shape｣**10.4 Wed. 　　学生時代の初の貧乏旅行一人旅のことを思いだした。自炊の宿だったのだが、オーナーを囲んで旅人が集ったりする。緊張のあまりぎこちない私は、茶碗をカツーンと落として割ってしまったのである。そのことにさらにあわわと慌てていたにちがいない。異国ゆえ飯椀も貴重なはずだった。そんなときのオーナーのひとこと、「かたちあるものはいつかこわれる。」　　かたちは消えたが、大切なものが残った。 | | |
| **「I am HOUSE ⑨」**　9.29 Fri.  　雨もふっていないのに、住人が傘をさしてやってきました。私にもさしてくれましたが、とうてい入りっこありません。あ、ほんとに雨が！？　私の軒先に入れば濡れないのですが、そんなことはどうでもいいのです。大切なのは傘をさして立っているということ。 | |  |
|  | **「inseide｣**　9.25 Mon.  あるホルモン焼屋での話。ホッピーを注文すると、焼酎が1/3程はいったコップとホッピーの瓶が一本。アルコールの濃さはお好みでホッピーを注げばいいのである。コップが空になったら、こう注文するのだ。  「なかみくださーい！」  描きたいのは、コップなのか？水分なのか？と考えるとやっぱり両方あってのなかみにほかならないのである。 | |
| **「recipe」**　9.17 Sun.  　　　濃縮時間のつくりかた  　　　　1　 いつでも走り出せるようスタンバっていること  　　　　２　つねに思い描いておくこと、ただし、シミュレーションしてはならない  　　　　３　さっきまでのことをきれいさっぱり忘れること、思い出さないだけのこと  　　　　４　この時間は限られているがけっして短くはないという認識  　　　さあ、つくってみましょう。 | | |
| **「 tea time　luck 」** 　9.16 Sat.  　なんだか集中力に欠ける、こころもとない感じ。　こんなときは 思い切ってお茶とお菓子をほおばって過ごすべし。おなかのあたりがほんわかしてきたぞ。さてさて、、、 | | |
|  | **「colour of tea？」**　　9.8　Fri.  　茶色ってお茶の色なんだろうか、お茶色とか麦茶色じゃまずいんだろうか。だったら、やっぱ透き通ってないとね。茶色を見直す日々です。 | |
| **「I am HOUSE ⑧」**　9.1 Fri.  　暑い日々も過ぎ、さわやかな午後、住人が歩いてやってきました。最近はお互いの共通語も増え、なんとなく楽しい。庭先のぶどうもいろづき食べごろなのですが、私には手も足もでません。食いしん坊の住人はきっと食べてしまうんでしょう、と思っていたらなんと私の分もとってくれました。はてさてこのぶどう、どうやって食べたらよいのでしょうか。台所にそっと置いておきましょう。。。 | | |
| **「colour of tea」**　8.31 Thu.  　麦茶のペットボトルに光をあてると麦茶の影が映る。麦茶色だと思っていたけれど、亜麻色というか琥珀色というかお茶の色を超えた「いろ」を　もっているんだな。ものにだまされてはいけない。 | |  |
|  | **「eye cleaning」**　8.27 Sun.  　不思議、ある時トツゼン、今までみえなかったものがみえたりする。その距離を保ちたいものである。 | |
| **「less than something」**8.24　Thu.  どれくらい足りないか、ということが関わってくる。その足りなさは受け入れられるのか、否か。ひょっとすると一歩すすめばかなり遠いところにいってしまうかもしれないのである。かぎりなくそこへ近づく勇気は要るが、近づけない勇気も必要なのである。 | | |
| **「ｓｕｍｍｅｒ　」**　8.3 Thu.  青い栗、しけったチップス、モナカアイス、はあ～・・・ | **「another　eyes」**　7.27　Thu.  筆をおくポイント、わたしにはもう手をいれることができないと思った瞬間、なんだか遠い人の絵だなと思った瞬間、できたかもと思った瞬間以外にもいろいろとある。 | |
| **「I am HOUSE　⑦」**7.21 Fri.  家であるにもかかわらず、ときどきずるをして歩いてしまいます。ただ建っているということがどんなに難しいことか、、、大きな家になりたい。 | |  |
| **「size free」**7.17 Mon.  　最近、小さなサイズの絵にてこずっていた。小手先がきくだけにつまらなくなったり、どんどんちっちゃくなったり。でも、絵のなかみは、サイズが小さくても大きくてもかわらないということがわかった。幸い、大きなサイズの絵を描く機会がやってきた。なかみを開放してみよう、きっと同じようにてこずるんだろうな。。。 | | |
| **「 a glass of ・・・」** 7.10 Mon.  　ただのコップが描きたいと思うのだけど、この「ただの」ってのがよくわかっていない。 |  |  |
|  | **「I am HOUSE　⑥」** 　6.28 Wed.  　　私は、ただ建っているだけに見えるでしょう？　ワタシノ中ノヨカラヌワタシと対決し、なんとか冷静に建っているとはまさか思わないでしょう？　おやおや今日も住人がやってきましたよ、ひょっとしたら、なにくわぬ顔のこの方もものすごい対決をしてきたのかもしれｊませんよ。 | |
| **「 potate chips」** 　6.27 Tue.  　しけったポテトチップスがおいしいという人がいる。人の嗜好は様々である。しかし、いいものはきっといつでもいいとわかるにちがいない。　腕はにぶっても、目はつねに鍛えていなければ、ね。でも、食べてみないとわからないよね。 | |  |
|  |  | **「rain」**　 6.17 sat.  雨が降って、蛙が鳴いている。蛙が鳴いて、雨が降る。  ここのところ、そういう日々がつづいてる。　うちにも鳴かない蛙が一匹いたな。 |
| **「-マイナス」**　　6.10　Sun.  発想をかえてみた、私に何がのこるかの計算式。私からいろんなものをひいみるのでなく、たとえば、私を引いてしまう。すっきり！ | | |
| **「caramel」**　5. 30 Tue.. 　小さい頃、家でキャラメルをよくつくった。バットに流し込んだ茶色い板をさいの目にきる。私の仕事はここからで、小さな色セロハンにひとつのせては両はしをくるっとする。なんだか特別な作業のように感じた。今、銀紙で包まれた一粒のキャラメルをほおばる。小さな一粒を特別なものにする魔法はなんだったか思い出したい。 | | |
|  | **「amanojaku」**　5. 22 　Mon.  　ベニヤだのペンキだの麦茶だの、と絵への入口をさがすのに、随分回りくどい方法をえらんできた。　裏へ裏へとそれていったら、表に到着した。久々に真っ白なキャンバスに筆をいれてみた。う、なんとシンプルなんでしょう。絵の具やキャンバスが長く使われてきた事実を痛感。。。 | |
| **「I am HOUSE　⑤」**　5.　18　Thu.  　久々に住人に会っておどろいた。　なんと私と同じくらいの背丈になっていた。つまさき立ちで２階の窓から顔をのぞかせ、何やら不思議な言葉をつぶやいた。おやおや、でたらめがお上手ですね、と台所で声がした。時計をがっしとつかんで遠くへ投げたり、カーテンをひっぱってみたり、いやはや。。。 | | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\kikenmini.jpg | 言葉は、矯正なのかもしれない、aiue, aiue,aiue。。。 | |
|  | **「difference」**　　4.24　Mon.  「似ている」ってことは、ぜんぜんちがうってことなんだろう。 | |
| **「last year」**　4.23　Sun.  すっかり忘れていたことを思い出した。昨年の今頃、野生のポピーの種を持ち帰り、ポケットに入れっぱなしだったのを玄関先でぱたぱたとはらった。こんなんでは咲きっこないだろうと思いつつも、来年みんなが驚いたら内緒にして一緒に驚こうとか思っていた。今年、意外な場所にポピーの花が咲いた。みんな驚いていたが、私もほんとに驚いた。雨水に流されて根をはってつぼみをつけたのだ、すごいな。 | |  |
| **「Wednesday」** 　4.19 Wed.  　この池を、なんとか持ち帰れないものかと考えていた。むずかしい・・・でも、不可能じゃないかも？ |  |  |
|  | **「ａｎｓwｅｒ」**　4.15　Sat.  　モリ ノ カタマリ、キエタ モリ。。。  寝る前に忘れないように、忘れないようにとつぶやいた。 |
| **「SAKURA」** 4.　10　Mon.　　「花見」というのは、あまり桜の木が大きすぎても、辺りが大自然すぎてもいけないようだ。丈が低く、なるべく狭く、、、。幸い、こんどの住まいは桜が近い。山の斜面に沿ってそびえたつその姿はなかなか。こんなに桜があるのに花見をする人々もなく、ちょっと人通りがふえたかな？程度。人の心を躍らせる公園の桜たち、ちょっとした人工、が人々には心地よいのだろうか。。。 | | |
|  | **「I am HOUSE　④」**　　3.　30　Thu.  　半年、という月日は人を成長させるのに十分な長さのようです。　家になってしまえば一見なにもかわらないかのようにみえてしまいますが。よく、あっという間に月日が流れるという話をききますが、すぎてしまった時間の話をするのはナンセンスだと想います。今この時をあなたはどうお考えになりますか？ | |
| **「prum tree」**　　3.25　Sat.  　梅の花は新しい枝にしか花を咲かせないらしい。どうりで緑色に突き出た若い枝にたわわに咲いている。だから、花が散ったその枝は剪定され、また新しい枝が伸びる。どこを落とすかによって出てくる部分を導いたり。そして長年かけて木のかたちができてくる。 |  | **「Kiwi　fruits」**　3.1７　Fri.  　最近、キウイを手でちぎって食べている。まず、半分にし、さらに半分、その野性味が気に入っている。見た目はいわゆるキウイというよりは、山で採ったアケビといった風。種が種らしくみえるから不思議。 |
| **「full or empty 」**　3.10　Fri.  　たとえば、離れていてその存在を想う。　ただ在る、という感覚だけが確か。現実に在ることをみることができなくても在るという安堵。それが仮に失われてしまったら、そこに確かめにいくことがなくとも、ぽっかりと空虚。今ここでは、どちらであっても状況は変わらないのであるが、心の中は大いにちがう。心のなかにもしっかりと根っこがはえている。 | | |
| **「first-scenery」**　3.　7　Tue.  　学生時代、文学の先生が、「原風景」について熱く語ってくれた。　私の場合、左目の端から右の目の端までつづく一すじの線、青みどり色の海。楽しい想い出がいっぱいあるのに、なぜか哀しい気分になる。そういうものなのだろうか？哀しい気分もわるくない。 | |  |
|  | **「I am HOUSE　③」**2.26　Sun.  　ときどき、腹をすかせて住人が帰ってきます。　また一回り大きくなりましたね、と私。いやいや、気のせいですよ、と住人。ちょっと休んでいってもいいですか？と住人。でも、もう私では狭すぎやしませんか？それもそうですね、ただそこのベンチでちょっとうとうと、、、、、言う間に寝てしまいました。生きていくってきっと大変なんでしょうね、私は家ですからさっすることしかできませんけど。 | |
| **「Ｌｏｏｋ！」**　2.22  　パッケージのフルーツの写真をみながら、ひとつひとつ半分にかじって中身をのぞいて食べるのがそのチョコレートの食べ方だった。ピンク色、いちご味。きいろい、バナナ味。ところが、何かをしながら、ひと口でたべてしまったら、意外にも自分の味覚のたよりないこと！それにしても、あたるとちょっとテンションを下げられたアーモンド味、メロン味がとってかわってうれしかったけど、あそこにはなんだか確かなものがあった、、、、 | | |
| **「branco」**　2.14　　　何年ぶりだろう、ブランコにのった。　誰もいない公園というのは自分の位置がよくわかる。私はブランコをえらんだ。 | **「ｓｋｙ－sidewalk」**2.10  　歩道橋を猫があるいていた。人さえめったに見ないのに。これが、向こう側につうづると知ってのことか、それともこんな晴れた青い空ゆえか？？？？私の視線に気付いてか、階段を下りたところでしばしこちらを視ていた。「だってこれ、歩道橋でしょ？」って顔。そうなんだ、そうなんだけど。。。 | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\hyoutanike.jpg　**「hyoutann　ｐｏｎｄ」**1.26　　この池は、周りの団地ができる際に造られたそうである。当初は、四角くて釣堀風だったらしいのだが、木々の生長とともにその様子もまるでずっとそこに佇んでいたかのようにみえる。さほど深くはないのであろうが、水面に映る景色をみていると深いふかい、水はたいしてきれいでもないのだが、澄んですんで、その四角い面の上に広がる世界。今日は、真ん中に氷がまあるく、漂っていた。 | | |
| **「snowing」**　1.21  　部屋の中が明るい、辺りは妙にしずかだ。　窓の外が、一面真っ白だった。ここが東京だということを忘れるほどに山々樹々が野生の顔をのぞかせていた。。。 | | |
|  | **「ｙａｍａｎｏｔｅ　ｌｉｎｅ」**　 1.7  　正月に甥が山手線一周の歌を披露してくれた。東京からはじまり見事に全駅名を曲にのせて歌いあげた、が、また東京を通過、あれ？と気付くともう３周目なのだが、本人（5才）は、どこで終わったらよいのかわからないらしい。そういえば、虎がやしの木の回りをぐるぐると回り続け、とうとうホットケーキになっちゃう話。まわっているうちに何か新しいものが生まれたら、いいのに。。。 | |
| C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\neko.jpg　猫さん。。。 | | |
| **「new year」**　　2006. 1. 1  　いつのまにか年が明けてしまいました。　３ヶ月ｎｏｔｅを留守にしてしまいましたが、ある意味、旅にでておりました。めまぐるしい速度で一刻一刻をきざみ、すべてをみのがさないように目をみはり、とても長い間が訪れた・・・　私は確かなものを手に入れたかのようにみえたが、それは自己と他者との葛藤のはじまりでもありました。 | |  |
|  | **「I am HOUSE　②　」**　2005.　9.18　Sun.  　もうすぐ住人がここを出てゆくことになりました。ここではやや狭すぎるようです。もっと広いところへゆくのでしょう。住人が扉をあけて旅立つ日、そういえば、私ははじめてその姿に出会うことになるでしょう。。。 | |
|  | **「aiｒ　ｃｕｂｅ？」**　9.15　Thu.  　9.4、藍画廊にて山本まり子展を拝見した。午後の光とともに変化する微妙な色彩、見ればみるほどに、吸い込まれていく。心にくいほどに微妙。。。今、このアトリエで、小さな缶の中にそっとしのばせたあの作品のふたを開けることができたならと思う、その感覚こそ、まさに彼女の作品に近いように思う。 | |
| **「Ａｕｔｕｍ　is coming」**　8.19,fri.  　毎日、暑い日がつづきます。　外にでるのは覚悟のうえで、日陰をさまようように歩きます。蝉の声はようしゃなく、日陰さえ奪っていきます。道の傍らに毬栗をみつけました。まだ青く、みずみずしいこと。ふいに出会った秋の姿に思わず駆け寄り、出会いの一蹴り！さわやかなはずの対面は痛みへと変わる。ああ、、、足元はまだ夏のサンダル。。。 | | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\hyoutanike.jpg  「近所のひょうたん池」 |
| **「ＳＴＯＰ」**　8.9 tue.  　やぶれた障子を繕おうと、ただの白ではものたりない。　よし！そこに絵をはってしまおう。　幸い、我家には、和紙にdrawingされたものが、数知れず眠っている。　１マスはってみたら、なかなか。後ろから光が差し、格子は額縁のごとく、切り取られた部分を絵としてひきしめる。　楽しくなり、もうひとつ、もうひとつとパッチワークが増えていく。　どの位置にどの部分を入れてゆくか、そのうち悩みはじめる。　切り取ってしまったら取り返しがつかないので、シミュレーションなどはじめてしまう。　そうするともう、ああでもないこうでもない、とらちがあかぬ。　途中で手がとまる。　「絵」の醍醐味がストップしてしまったのは、いったいどこからでしょう.。。。 | |  |
|  | **「I am HOUSE　①」**　 7.30.sat.  　最近、私の中に一人の住人がやってまいりました。最初は、おとなしく物音も立てず、居るのか居ないのか疑うほどの静けさ。数ヶ月が経ち、徐々に住人の態度は変化。最近では、部屋の中でダンス？体操？夜更けになると何やら活動をはじめます。私は耳をすましてみますが、中の様子は定かではありません。ただ、住人が来てから、なんとなく楽しいのは確かで、私はじっと建てるのみであります。 | |
| **「ＯＰＥＮ！」**　2005.7.10.sun.  ついに、ＨＰが出来ました。あれこれ構想を練るまえに、まずやってみる！ということの大切さを痛感します。　こうしてみると、自分の作品づくりを振り返るにはよい時間でした。 | C:\Users\明広\Documents\み　え\mｉｅｈｐ\note\note1-5\musume.jpg「看板娘」　５×２ｃｍ アトリエにて | |

Ｏｌｄ　ｎｏｔｅにおつきあいくださり、ありがとうございます。

旧ＨＰを開設して以来、ほぼ十年間のメモ。ひろい出してみたら６５ページもありました。

よみかえしてみると、懐かしくもあり、同じことを繰り返しているようにも思える。これからも日々の気づきをメモしてまいりたいと思います。　　　　　　　　　　　　　　　　　根本美恵　　　2016.1.29　Ｆｒｉ．